



National Institute of Informatics

NII Technical Report

科学研究費補助金採択研究課題数による
大学の研究活性度の調査研究
— 2005 年度(平成 17 年度)版 —

Ⅲ. 生物系編

Evaluation of Japanese Universities' Research
Activity Based on the Number of Awards of
Grants-in-Aid for Scientific Research

— 2005 Fiscal Year —

III. Biosciences

光田好孝、野村浩康、前田正史、前橋 至、
根岸正光、柴山盛生、西澤正己、孫 媛

Hiroyasu NOMURA, Masafumi MAEDA, Yoshitaka MITSUDA,
and Itaru MAEBASHI,

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA, Masaki NISHIZAWA,
and Yuan SUN

NII-2007-003J

Apr. 2007

科学研究費補助金採択研究課題数による
大学の研究活性度の調査研究
－2005年度(平成17度)版－
Ⅲ. 生物系編

光田好孝*, 野村浩康**, 前田正史*, 前橋至*
* 東京大学 ** 東京電機大学

根岸正光, 柴山盛生, 西澤正己, 孫 媛
国立情報学研究所

Evaluation of Japanese Universities' Research Activity
Based on the Number of Awards of
Grants-in-Aid for Scientific Research
－2005 Fiscal Year－
III. Biosciences

Yoshitaka MITSUDA*, Hiroyasu NOMURA**,
Masafumi MAEDA*, Itaru MAEBASHI*
* The University of Tokyo, ** Tokyo Denki University

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA,
Masaki NISHIZAWA, Yuan SUN
National Institute of Informatics

Abstract

The system of *Grants-in-Aid for Scientific Research* from Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan is one of the oldest ones, which is the funding system for researchers belonging to universities and institutes in Japan. The fund was allotted to each researcher by peer review under the application for their own research projects.

This is the third report for 2005 fiscal year's version, on the research field of biosciences. The total number of adoption subjects of research projects at 2005 has summed up for each university and institute on individual research field and compared them to those of 2004 which were reported previously.

目 次

I. 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究について

1. はじめに	1
2. 調査研究に利用したデータベース	3
3. 2005 度（平成 17 度）の包括的な状況	3
4. 調査研究の具体的な分析方針	10

II. 個別研究費：生物系編

1. 概要	11
2. 分野別	20
2-1 生物学	20
2-2 農学	26
2-3 医歯薬学	38

I. 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性化の調査研究について

1. はじめに

文部科学省（文部省）科学研究費補助金制度は、1939年（昭和14年）に始まった古くからのわが国最大の、国・公・私立大学、国立研究機関等に所属する研究者に対する個人申請とピアレビューによる国の研究費配分制度である。この科学研究費補助金の配分システムが、いろいろな批判はあるにせよ紆余曲折を経ながら、わが国の大学の基礎研究を支えてきたと言っても過言ではない。わが国の科学技術の振興を一層図るために、科学技術基本法が作られ、その一環として、いわゆる競争的研究資金である科学研究費補助金に予算が重点的に配分され、図1-1に示すように、毎年予算増が図られてきた。2006年度（平成18年度）には、1,895億円と1992年度（平成4年度）の約3倍に増加し、他の省庁の所轄を含めてわが国最大の競争的研究資金となっている。納税者に対する説明責任という観点からも、科学研究費補助金がどのように配分されているかを総合的に分析・調査することは重要である。

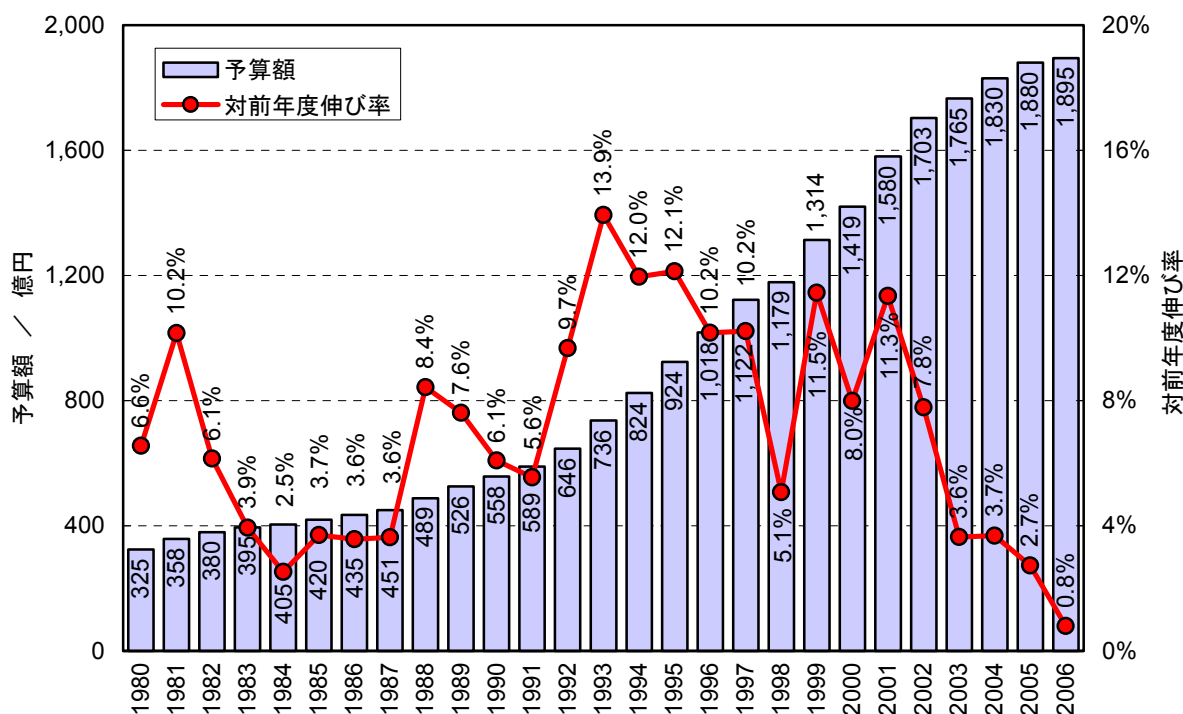


図1-1 科学研究費補助金の予算額の推移

さらに、評価における観点として、科学研究費補助金の採択研究課題数等を個人および機関評価の資料として用いるときのデータの公開性の問題がある。公開され誰にでも入手できるデータに基づき、明示された方法により、評価・順位づけがなされなければならない。この種の資料の整理・公開が非常に遅れていることも、わが国の正確な評価システムの構築を妨げている一因である。この意味から

も科学研究費補助金の採択研究課題および金額は、毎年「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」（ぎょうせい発行）に公表されており、現在では国立情報学研究所の web サイトにも公開され、条件さえ整えば誰でも見ることができる。

科学研究費補助金のような公開データから採択研究課題数を大学別に整理することによりランキングを作成する場合、必ず大学の規模の問題が出てくる。科学研究費補助金採択研究課題数は、いわば英国における各大学の RAS（Research Active Staff）の数に対応するものと考えられる。国立大学の法人化により徐々に運営費交付金の削減が進行すれば、研究者への研究費について機関配分よりも競争的な個人配分の割合が増加するのは当然の流れである。科学研究費補助金制度は、国・公・私立大学の区別なく研究者個人が申請し研究費を獲得する制度である。採択研究課題数の多い大学は、活発に研究活動をしている教員、英国流に言えば RAS が多く所属していることになり、分野ごとの採択研究課題数の多寡は、各大学の研究活性分野の濃淡を表すことになる。とすれば、このような資料は、大学当局においても構成員の研究活性度を的確に把握するために欠くことのできないもの、大学ガバナンスの資料でもあるはずである。

この科学研究費補助金制度の根幹をなす仕組みのひとつが科学研究費補助金の「系・分野（部）・分科・細目表」（以下「細目表」という）である。この細目表は基盤研究等の研究種目に関し審査分野の区分を示す分類表である。ここで注意すべきことは、科学研究費補助金の「細目表」における細目構成が基本的にわが国の学部学科編成と似ていることから、科学研究費補助金の採択研究課題数と学部学科等の大学の組織の人数等を短絡的に比較しがちな点である。しかし、学部・学科・専攻が学問分野を中心に編成されているものの、研究者がその所属に関係なく実施しようとする研究計画の内容を考え適切な細目を自ら選んで研究費を申請できることが、科学研究費補助金の特徴である。

科学研究費補助金の「細目表」は不断に進展を続ける学問・研究の動向に合う適切なものでなければならない。科学研究費補助金の「細目表」については 1993 年度（平成 5 年度）に抜本的改正が行われ、以後 5 年ごとに見直されることが平成 5 年度募集要項に付記された。学術審議会科学研究費分科会（当時）に「分科細目改正検討委員会」が設置されたが、1998 年度（平成 10 年度）は小規模な改正に留められ、2003 年度（平成 15 年度）に大幅な改正が行われることとなった。

以上のことから、我々は、2003 年度の「細目表」の大改訂を考慮して、1998 年度（平成 10 年度）～2002 年度（平成 14 年度）の 5 年間の全ての分野にわたって科学研究費補助金採択研究課題を分析し、その結果からわが国の大学・研究機関の研究活性度を調べ、国立情報学研究所の「NII テクニカルレポート」（NII-2003-007J(2003)、NII-2004-001J～005J(2004)）として、web 上に公表した。また、その骨子は慧文社から「科学研究費補助金からみる全国大学総合ランキング — 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究 —」として出版した。

一方、2003 年度（平成 15 年度）の改正は、学術審議会答申「科学技術創造立国を目指す我が国の学術研究の総合的推進について」（1999 年（平成 11 年）6 月 29 日）に基づき、2000 年度（平成 12 年度）に学術審議会科学研究費分科会審査第一部会に「分科細目改正検討委員会」が設置され、「細目表」についての検討が続けられた。日本学術会議および 17 の関連学会等の修正・追加意見等を参考に、最終的に新たな「細目表」が決定された。この新しい「細目表」を用いて初めて申請された 2003 年度および 2004 年度の科学研究費補助金採択研究課題も分析し、国立情報学研究所の「NII テクニカルレポート」（NII-2005-002J、004J、006J～008J(2005) 、NII-2006-002J、003J、005J～007J(2006)）として、web 上に公表した。また、2003 年度、2004 年度の内容はトランスアクトから「全国大学の研究活性度 — 2003 年度科学研究費補助金の採択研究課題数に関する調査 —」、「全国大学の研究活性度 2004 —

科学研究費補助金の採択研究課題数に関する調査 一」として出版した。

本調査報告は、同様の調査研究の2005年度（平成17年度）版である。このような調査研究には連続性が必要であるので、2004年度までの調査研究と同じ方針でデータの整理・分析を行う。2004年度と同様に、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究、特別研究員奨励費）と大型研究費（特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費）とその他（特定奨励費、研究成果公開促進費、審査・評価・分析経費）にわけ、個別課題研究費、大型研究費について解析する。

2. 調査研究に利用したデータベース

科学研究費補助金の採択研究課題名等については、「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」（ぎょうせい発行）として、毎年10月に公表・刊行されている。また、科学研究費補助金の採択研究課題名や成果概要等については、国立情報学研究所により「KAKEN（科学研究費補助金採択課題・成果概要公開データベース）」（URL：<http://seika.nii.ac.jp/>）としても公開されている。このように、科学研究費補助金については、公開されたデータが存在するため、採択研究課題数等を機関評価の資料として用いることが可能である。このことは、2005年（平成17年）6月にユネスコ・ヨーロッパ高等教育センターが呼びかけ開催された高等教育専門家会合において、大学ランキングの望ましい在り方を示した文書「高等教育機関のランキングに関するベルリン原則」にも謳われているデータの透明性にあたる。

本調査研究、特に個別課題研究費の分析には「KAKEN」に公開されているデータベースを用いている。また、予算額等の「KAKEN」から得られないデータについては「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」に掲載されている数値を用いた。なお、「KAKEN」には年度当初の採択研究課題に加え年度途中での追加採択研究課題も含まれているため、「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」に掲載されている数値と一致しない場合があることに注意されたい。

3. 2005年度（平成17年度）の包括的な状況

2005年度の総予算額は、図1-1に示したように、50億円増、2.7%増えて1,880億円である。緊縮財政状況の中では突出した伸びであるといえるが、伸び率が縮小してきていることがわかる。2003年度から2005年度までの総予算額の項目別内訳について示したものが、表1-1である。これらの項目を、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究）、個別課題研究費の一種である特別研究員奨励費、研究成果公開促進費、特定奨励費、大型研究費（特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費）、および残りの項目を審査・評価・分析経費として、予算額の割合を図1-2の円グラフに示す。

2003、2004年度に比べて、個別課題研究費が59.3%に微増し、大型研究費が34.7%に微減し、年々大型研究費から個別課題研究費に若干予算が移動していることがわかる。しかし、項目別予算の割合はほとんど変化していない。言い換えれば、全体的な枠組みは近年ほとんど変化しておらず、総予算額のみが増えてきているといえる。

表 1 - 1 科学研究費補助金の項目別予算額

金額単位/百万円

項 目		2003年度	2004年度	2005年度
1 科学研究費	(1) 特別推進研究	12,980	13,400	13,600
	(2) 特定領域研究	40,291	40,291	40,291
	(3) 基盤研究(S)	7,880	9,310	10,600
	(4) 基盤研究(A)	20,640	20,640	20,640
	(5) 基盤研究(B)	34,110	34,110	34,110
	(6) 基盤研究(C)	19,870	19,870	19,870
	(7) 萌芽研究	4,600	5,250	5,250
	(8) 若手研究(A)	4,030	5,440	5,900
	(9) 若手研究(B)	11,410	13,110	14,600
	(10) 奨励研究	200	600	600
	(11) 特別研究促進費	1,150	250	250
	小 計	157,161	162,271	165,711
2 研究成果公開促進費	(1) 学術定期刊行物	884	884	884
	(2) 学術図書	685	685	685
	(3) データベース	1,416	1,416	1,416
	(4) 研究成果公開発表	397	397	397
	小 計	3,382	3,382	3,382
3 特定奨励費		770	770	770
4 特別研究員奨励費		5,490	5,710	6,170
5 学術創成研究費		8,780	9,950	11,050
6 審査・評価・分析経費		917	917	917
	合 計	176,500	183,000	188,000

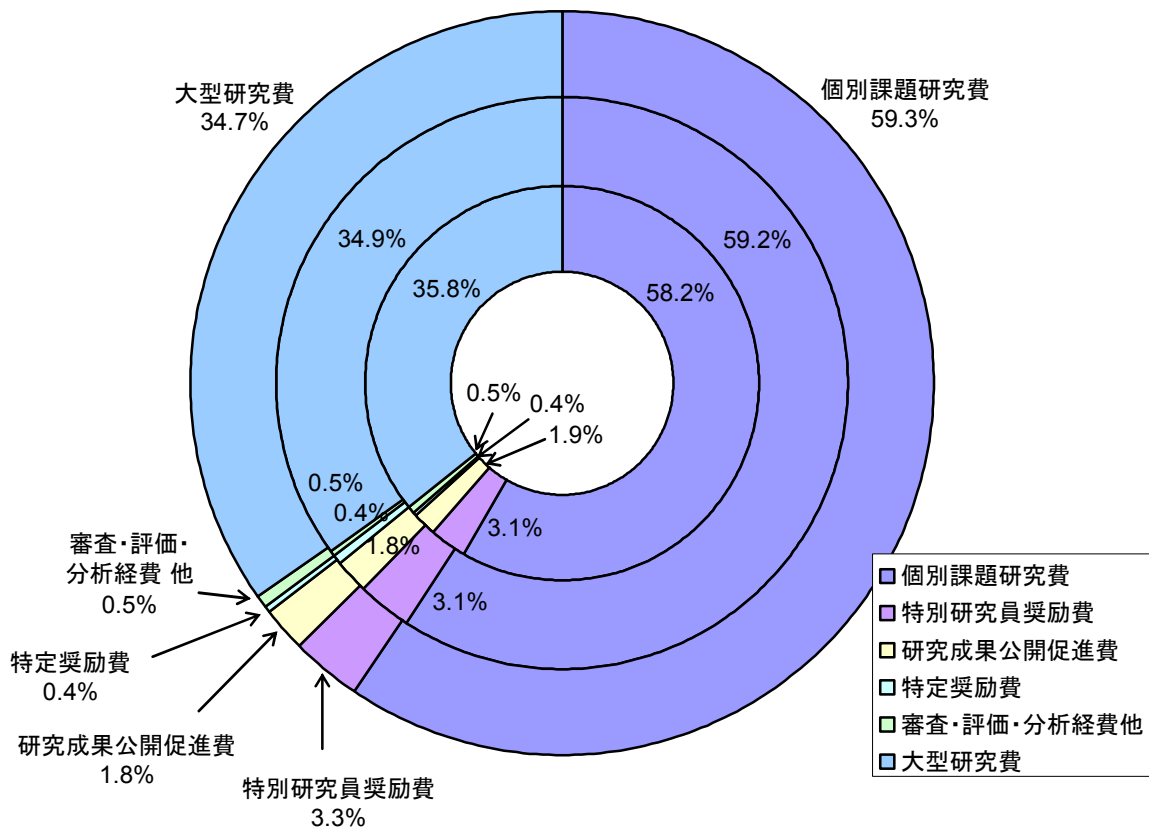


図 1 - 2 2003 年度(内周)、2004 年度(中間周)、2005 年度(外周)の科学研究費補助金の項目別予算の割合

まず、個別課題研究費について、2005年度の採択研究課題数を「分野」別に眺めてみる。採択研究課題数に着目し、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究、および特別研究員奨励費）の分析に用いた「分野」別および研究種目別の採択研究課題数と配分額を表1-2に示す。

特別研究員奨励費を除いた個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究）の2005年度の「分野」別の採択研究課題数の割合を図1-3に示す。2004年度と比較すると、総予算額の増加に伴い全体の採択研究課題数が約4.5%増え、「系」別の伸びが総合・新領域系で11.3%、人文社会系で6.4%増えているのに対して、理工系で1.8%、生物系で2.8%しか伸びておらず、その伸び方には差があることがわかる。

次に、2005年度の採択研究課題数を機関別に眺めてみる。2005年度の特別研究員奨励費を除く研究種目全体の機関別採択研究課題数を表1-3に、その棒グラフを図1-4に示す。1位の東京大学をはじめとして、上位を旧帝国大学が占め、広島大学等の旧文理大学が続くことがわかる。また、医学部を持つ大学が上位に現れやすい傾向が見てとれる。このように、採択研究課題全体では各機関の研究分野の特徴が表れにくく、大規模の国立大学が上位にあるように見える。

表 1-2 個別課題研究費の分野別研究種目別の採択研究課題数と配分額（2005 年度）

金額単位/百万円

研究種目	分野	総合領域	複合新領域	人文学	社会科学	数物系科学	化学	工学	生物学	農学	医歯薬学	時限付き	研究種目別合計
基盤研究 (S)	件数	29	28	11	7	37	24	76	25	22	57	—	316
	配分額	497	590	171	82	577	436	1,379	452	351	1,083	—	5,619
基盤研究 (A)	件数	182	191	148	161	198	83	334	93	137	244	—	1,771
	配分額	1,853	1,900	1,082	1,265	1,792	989	3,620	909	1,332	2,608	—	17,349
基盤研究 (B)	件数	878	520	534	734	613	335	1,340	322	709	1,785	—	7,770
	配分額	3,749	2,285	1,799	2,518	2,538	1,714	6,321	1,584	3,103	8,708	—	34,319
基盤研究 (C)	件数	1,711	569	1,508	1,770	1,250	441	1,798	468	736	5,266	283	15,800
	配分額	2,230	767	1,459	1,821	1,458	656	2,530	702	1,027	7,537	408	20,596
萌芽研究	件数	534	284	174	260	248	203	627	165	318	1,359	—	4,172
	配分額	757	421	177	286	312	331	966	262	482	2,078	—	6,070
若手研究 (A)	件数	92	61	7	15	58	57	153	42	32	109	—	626
	配分額	600	423	14	54	449	440	1,160	362	231	807	—	4,538
若手研究 (B)	件数	1,422	469	589	1,217	871	439	1,572	439	575	3,343	—	10,936
	配分額	1,846	651	546	1,202	1,085	693	2,213	692	826	4,828	—	14,582
分野別合計	件数	4,848	2,122	2,971	4,164	3,275	1,582	5,900	1,554	2,529	12,163	283	41,391
	配分額	11,532	7,035	5,248	7,227	8,211	5,259	18,188	4,963	7,352	27,649	408	103,072
特別研究員奨励費	件数	5,575											5,575
	配分額	5,394											5,394

* 特別研究員奨励費に関してのみ、平成 17 年度文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧よりデータを採用した。

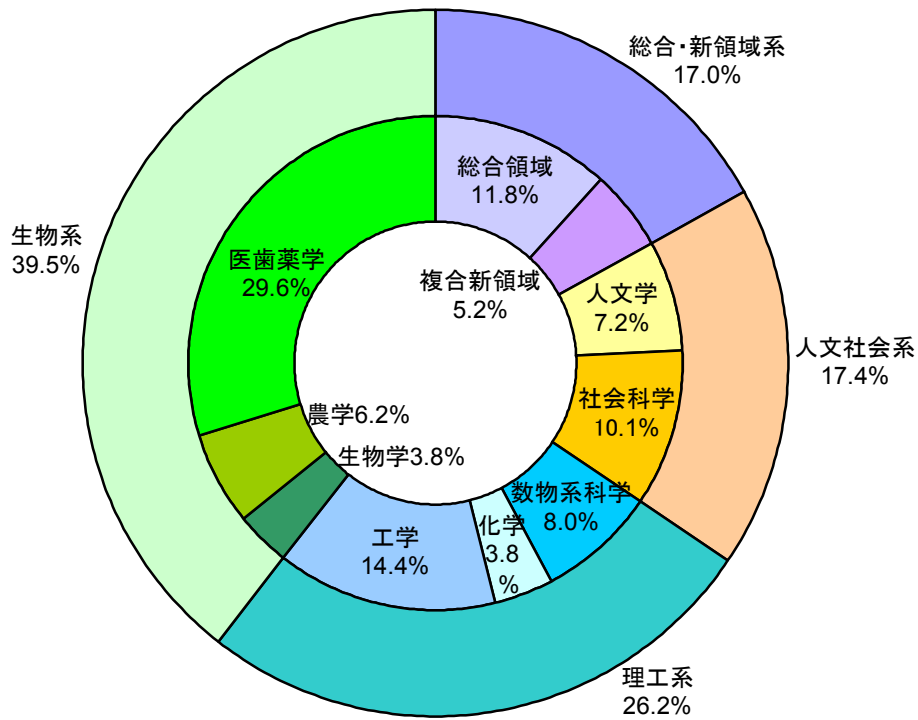


図 1 - 3 2005 年度科学研究費補助金の「系」別(外周)および「分野」別(内周)採択研究課題数の割合

表 1-3 特別研究員奨励費を除く研究種目全体 採択研究課題数上位 50 位 (2005 年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2005年度	
			件数	金額
1	国	東京大学	2,840	17,995,755
2	国	京都大学	2,228	11,740,300
3	国	東北大学	1,723	8,449,900
4	国	大阪大学	1,676	8,108,600
5	国	九州大学	1,382	5,260,200
6	国	北海道大学	1,341	5,136,821
7	国	名古屋大学	1,242	5,818,900
8	国	筑波大学	877	2,841,400
9	国	広島大学	853	2,213,431
10	国	東京工業大学	782	4,074,100
11	国	神戸大学	750	2,319,232
12	国	岡山大学	617	1,746,429
13	私	慶應義塾大学	597	2,251,300
14	国	千葉大学	583	1,728,200
15	私	早稲田大学	518	1,604,500
16	国	新潟大学	494	1,181,900
17	他	理化学研究所	490	2,379,800
18	国	金沢大学	456	1,299,500
19	国	徳島大学	402	1,112,100
20	国	熊本大学	401	1,396,000
20	国	長崎大学	401	974,000
22	国	東京医科歯科大学	384	1,635,000
23	私	日本大学	348	577,400
24	公	大阪市立大学	340	1,177,800
25	国	信州大学	338	684,400
26	国	山口大学	334	676,817
27	公	首都大学東京	321	948,000
28	国	鹿児島大学	319	618,700
29	国	群馬大学	313	878,100
30	国	岐阜大学	279	773,600
31	公	大阪府立大学	278	679,000
32	国	愛媛大学	275	783,800
33	国	山形大学	249	492,500
34	国	静岡大学	248	622,600
35	私	東海大学	228	476,200
36	国	鳥取大学	223	454,900
37	国	三重大学	220	504,900
38	国	横浜国立大学	218	709,100
39	国	福井大学	214	461,900
40	他	産業技術総合研究所	211	862,500
40	私	立命館大学	211	467,200
42	公	名古屋市立大学	209	524,200
43	国	琉球大学	204	383,200
44	国	東京農工大学	193	822,500
45	国	佐賀大学	191	354,572
46	私	北里大学	189	437,400
47	国	宮崎大学	188	388,600
48	国	弘前大学	183	351,600
49	国	島根大学	176	321,900
50	国	埼玉大学	175	351,700
合計			45,531	150,895,540

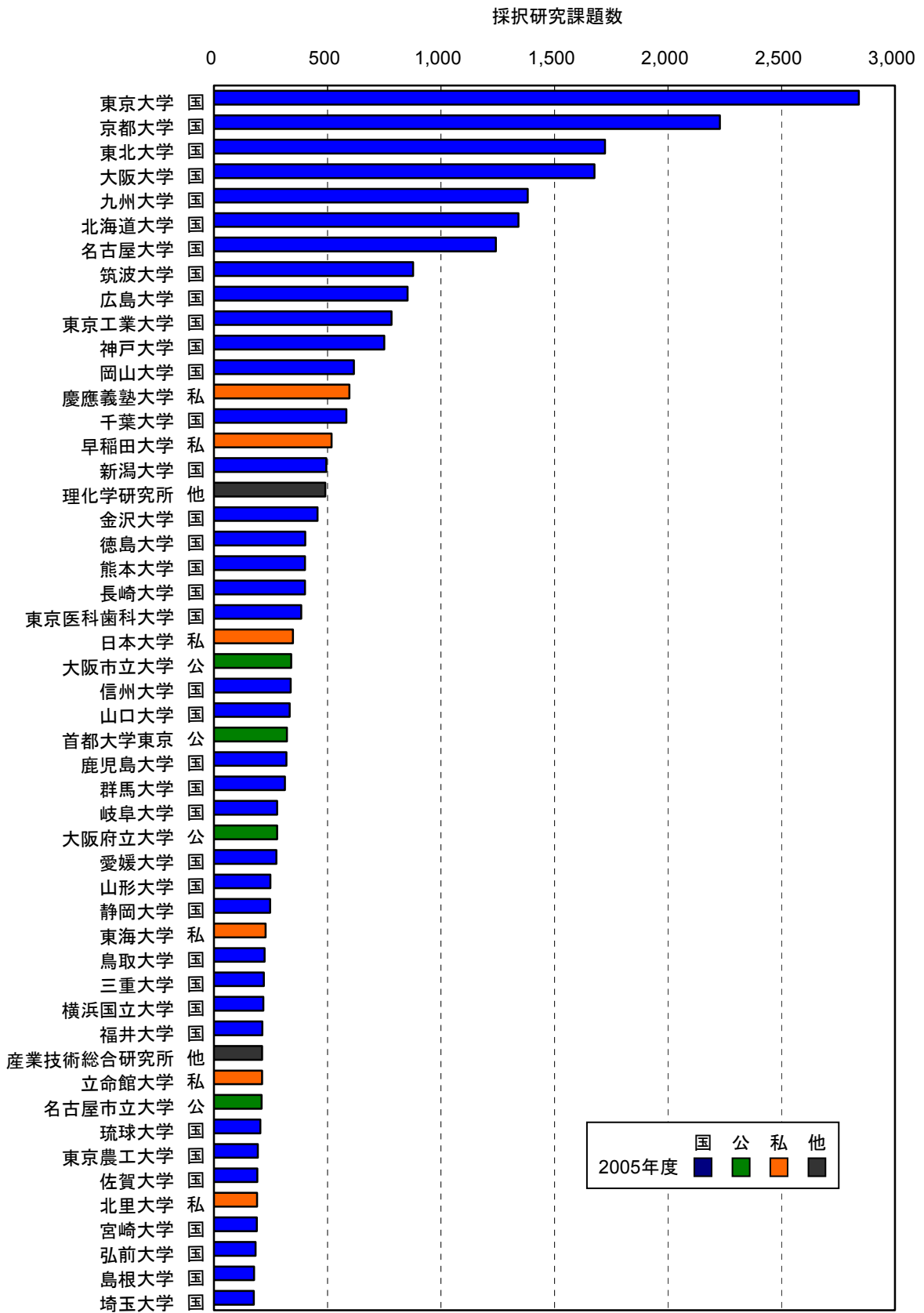


図 1 - 4 特別研究員奨励費を除く研究種目全体 採択研究課題数上位 50 位 (2005 年度)

4. 調査研究の具体的な分析方針

特別研究員奨励費を除く個別課題研究費では、科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度を、科学研究費補助金申請および採択に用いられた新「細目表」にしたがって整理した。基本的には前回の2004年度の分析方針と同じである。経時変化がわかるように、2004年度の機関別採択研究課題数を併記することとした。ただし、2004年度の途中から2005年度の研究課題の採択までの間に、大学の合併や名称変更などが行われている。2004年度の採択研究課題数を表記する場合には、この点を考慮して、2005年4月1日現在における大学等の合併や改廃を考慮した合算を行うなどの補正をしている。また、独立行政法人の改編に伴い申請時の機関名の記述が変更になったものもあり、比較の難しいものもある。補正内容の詳細については個々に記さないの、注意されたい。

これらの研究種目については次の方法で分析する。

- (1) 各「系」について、2005年度の科学研究費補助金の採択研究課題数の総数による機関別順位を上位50位まで整理する。
- (2) 各「分野」について、採択研究課題数による機関別順位を上位50位まで整理する。
- (3) 「分科」については、文学、法学、経済学、薬学等学部に対応するものもある。基本的には、各「分科」について採択研究課題数による機関別順位を上位30位まで整理する。ただし、採択研究課題数が1件以下の場合は省略し、2件までの順位とする。
- (4) 各「細目」については、調査件数が少ないことから、2005年度の単年度の分析の対象にはしなかった。この点については、現在の「細目表」が用いられる5年間の採択研究課題数の動向をいずれ見るときに改めて分析対象としたい。しかし、新「細目表」に改訂されて3年が経過し統計的に有意な調査件数となったため、テクニカルレポートをweb公開した後、3年間合計の「細目」別の解析を改めて検討し別の機会に発表することとしたい。

一方、特別研究員奨励費については、「KAKEN」に公開されているデータベース上では、基本的に2003年度に新規採用された特別研究員からの申請による研究課題では旧「細目表」が主に用いられ、2003年度に追加採用および2004年度以降に新規採用された特別研究員からの申請による研究課題では新「細目表」が用いられている。特別研究員が2年もしくは3年任期であることから、特別研究員奨励費の採択研究課題では、旧「細目表」により分類される研究課題と新「細目表」により分類される研究課題が混在している。

したがって、特別研究員奨励費については次の方法で分析する。

- (1) 特別研究員奨励費全体の採択研究課題の総数（新・旧「細目表」すべてを含む）による機関別順位を上位50位まで整理する。
- (2) 研究コードが混在しているため、旧「細目表」の「部」と新「細目表」の「分野」を、文系（部：文学、法学、経済学／分野：人文学、社会科学）、理工系（部：理学、工学、農学／分野：数物系科学、化学、工学、生物学、農学）、医系（部：医学／分野：医歯薬学）、融合系（部：複合領域／分野：総合領域、複合新領域）の4つに統合する。この4つの「研究領域」について、採択研究課題数による機関別順位を上位50位まで整理する。
- (3) 各「部」および各「分野」についても、採択研究課題数による機関別順位を上位30位まで整理する。ただし、採択研究課題数が1件以下の場合は省略し、2件までの順位とする。なお、これらについては、「細目表」の変更をまたいでいるため個別の機関別順位には本質的な意味がないことに注意が必要である。

Ⅱ. 個別課題研究費：生物系

1 概要

2005 年度の採択結果に前年度の機関別採択研究課題数を併記し、経時変化による採択動向をみることにする。「生物系」全体での機関別採択研究課題数を表 2-1 に、その棒グラフを図 2-1 に示す。表から明らかなように、2004 年度と比較すると、生物系全体として採択研究課題数が 2.8% 増えていることがわかり、人文社会系よりは少なく理工系よりは多く、生物系は伸びている。

東京大学をはじめとする旧帝国大学が上位を占めることには変わりはないが、京都大学、北海道大学、筑波大学、理化学研究所、群馬大学、浜松医科大学、福井大学、奈良県立医科大学などの多くの機関が 10% 以上採択研究課題数を伸ばしている。逆に、北里大学、久留米大学、日本医科大学、三重大学、東京女子医科大学、東京慈恵会医科大学は 10% 以上採択研究課題数を減らしている。後述するように、分野：医歯薬学が生物系の約 4 分の 3 を占めるために、系全体としては機関別の特徴が現れにくく、大規模総合大学が上位を占め、中位以降に私立の医科単科大学が数多く顔を出す形となっている。

表 2 - 1 生物系 採択研究課題数上位 50 位 (2005 年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2005年度		2004年度
			件数	金額	件数
1	国	東京大学	856	3,476,655	813
2	国	京都大学	715	2,531,300	648
3	国	北海道大学	543	1,791,421	484
4	国	九州大学	513	1,603,800	486
4	国	東北大学	513	1,445,700	484
6	国	大阪大学	507	1,717,400	487
7	国	名古屋大学	356	1,161,900	339
8	国	岡山大学	341	854,800	329
9	私	慶應義塾大学	296	697,100	288
10	国	広島大学	293	700,531	305
11	国	東京医科歯科大学	283	893,200	277
12	国	千葉大学	269	659,400	255
13	国	新潟大学	260	541,500	246
14	国	長崎大学	243	572,100	246
15	国	徳島大学	241	612,300	232
16	国	筑波大学	215	642,200	185
16	国	神戸大学	215	528,500	201
18	国	金沢大学	203	454,800	198
19	他	理化学研究所	198	550,400	170
20	国	鹿児島大学	183	339,700	187
21	私	日本大学	177	281,600	195
22	国	群馬大学	165	386,800	149
23	国	熊本大学	161	437,100	152
24	公	京都府立医科大学	157	344,900	164
25	公	名古屋市立大学	151	318,700	140
25	国	山口大学	151	264,900	153
27	私	北里大学	146	244,200	170
28	国	信州大学	140	276,000	143
29	国	岐阜大学	138	283,800	134
30	私	昭和大学	136	234,700	140
31	国	鳥取大学	134	269,100	127
32	私	久留米大学	132	198,400	159
33	国	愛媛大学	129	335,200	129
34	公	大阪市立大学	126	278,200	133
35	国	浜松医科大学	124	281,412	103
36	私	日本医科大学	121	179,700	145
37	国	三重大学	117	268,400	151
38	公	札幌医科大学	113	297,900	115
38	国	福井大学	113	279,800	78
40	国	宮崎大学	111	216,800	113
41	国	山形大学	109	216,600	105
41	私	東京女子医科大学	109	185,657	123
43	公	横浜市立大学	108	293,100	102
44	私	自治医科大学	103	173,400	105
45	私	順天堂大学	100	191,400	90
46	国	佐賀大学	95	167,115	89
47	私	東京慈恵会医科大学	94	132,100	125
48	公	奈良県立医科大学	93	156,400	80
49	国	弘前大学	91	173,100	96
50	私	産業医科大学	89	154,700	91
50	私	岩手医科大学	89	141,300	90
		合計	16,246	39,963,916	15,810

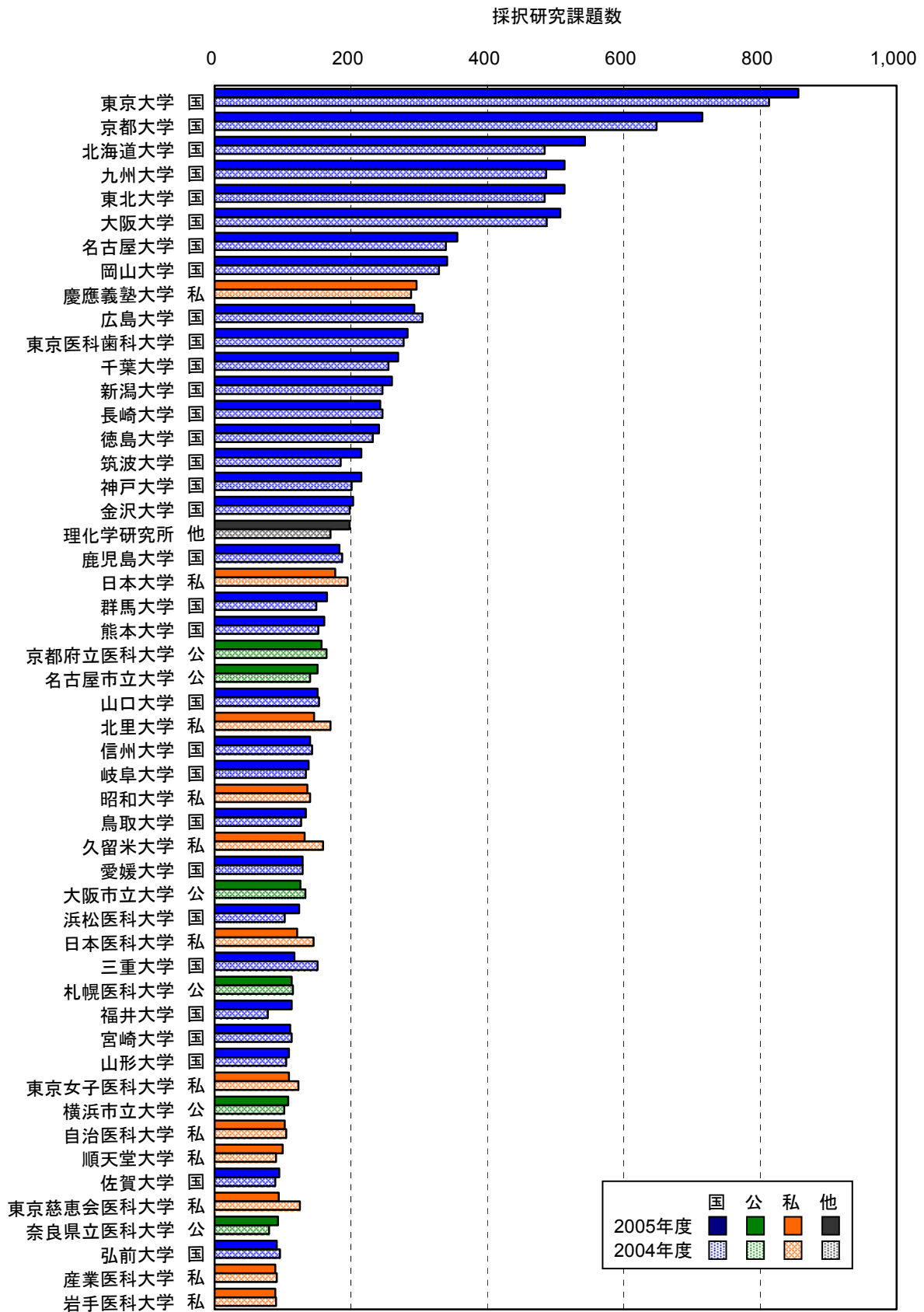


図 2 - 1 生物系 採択研究課題数上位 50 位 (2005 年度)

この生物系を「分野」別に分けてみると、図2-2に示すように、採択研究課題数の割合は分野：生物学で9.6%、分野：農学で15.6%、分野：医歯薬学で74.9%であり、「分野」別の割合は2004年度とほとんど変化していない。「分野」別に採択研究課題数を2004年度と比較すると、分野：生物学の伸びが4.0%と大きく、分野：農学、医歯薬学の伸びがそれぞれ2.5%、2.7%と小さい。

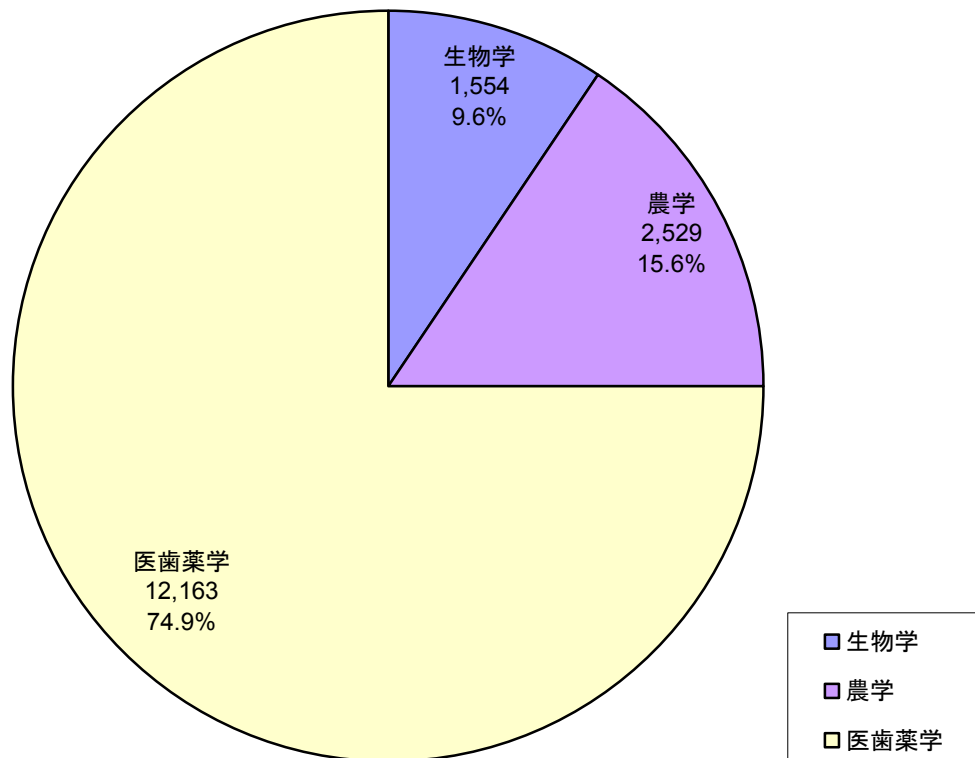


図2-2 2005年度の生物系「分野」別採択研究課題数

分野：生物学、農学、医歯薬学での採択研究課題数を機関別に整理したものの上位50位を表2-2～2-3に、棒グラフを図2-3～2-5にそれぞれ示す。生物学、農学、医歯薬学ともに2004年度までの傾向とほぼ同じであるが、個々の分野の特徴も現れている。

採択研究課題数の前年比伸び率の大きい分野：生物学では、2位の京都大学、3位の北海道大学が大幅に採択研究課題数を増やし、1位の東京大学に接近している。東京工業大学、筑波大学なども採択研究課題数を増やしている。

分野：農学全体では、3位の北海道大学が前年に引き続き採択研究課題数を伸ばしている。

分野：医歯薬学では、3位の京都大学が大きく採択研究課題数を伸ばしている。

表2-2 生物系「分野」別採択研究課題数上位50位(2005年度)(1)

金額単位/千円

生物学					農学						
順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数	順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	東京大学	147	653,600	139	1	国	東京大学	227	1,026,000	218
2	国	京都大学	127	465,800	113	2	国	京都大学	190	656,700	189
3	国	北海道大学	91	341,900	72	3	国	北海道大学	177	627,800	156
4	他	理化学研究所	80	206,400	76	4	国	九州大学	105	347,900	94
5	国	大阪大学	65	294,900	60	5	国	東北大学	91	332,400	84
6	国	名古屋大学	56	243,800	57	6	国	名古屋大学	78	344,000	84
6	国	九州大学	56	192,300	52	7	他	農業・生物系特定産業技術研究機構	68	163,200	58
8	国	東北大学	41	133,700	44	8	国	筑波大学	61	202,600	59
9	国	広島大学	34	90,400	32	9	国	東京農工大学	45	161,900	43
10	他	国立遺伝学研究所	32	141,300	30	9	国	神戸大学	45	141,700	48
11	国	東京工業大学	27	110,500	21	9	国	鹿児島大学	45	73,400	43
12	国	筑波大学	26	91,800	21	12	私	日本大学	43	73,100	43
13	他	基礎生物学研究所	24	94,600	26	13	公	大阪府立大学	42	98,000	49
14	公	大阪市立大学	23	70,700	26	14	国	帯広畜産大学	41	145,200	42
14	国	奈良先端科学技術大学院大学	23	68,600	23	14	国	広島大学	41	133,200	47
14	国	千葉大学	23	67,600	20	14	国	岡山大学	41	114,000	39
17	国	岡山大学	17	49,900	21	17	国	鳥取大学	39	106,800	38
17	公	兵庫県立大学	17	35,000	17	18	国	岐阜大学	38	99,900	30
19	他	国立科学博物館	16	67,800	15	18	国	信州大学	38	76,800	37
19	公	首都大学東京	16	49,700	14	18	国	宮崎大学	38	72,900	39
21	国	神戸大学	15	44,500	13	21	他	森林総合研究所	37	66,400	29
21	公	横浜市立大学	15	44,200	15	22	私	東京農業大学	36	88,100	31
23	他	東京都医学研究機構	13	31,300	17	23	他	理化学研究所	34	96,800	28
24	他	産業技術総合研究所	12	37,600	10	24	私	北里大学	33	72,300	38
24	国	熊本大学	12	34,900	11	25	国	東京海洋大学	32	91,000	33
24	国	琉球大学	12	17,200	12	25	国	岩手大学	32	75,300	37
27	他	森林総合研究所	11	40,600	8	27	国	新潟大学	30	71,800	26
28	私	東京薬科大学	10	24,000	11	27	国	三重大学	30	53,300	42
28	国	静岡大学	10	22,200	11	29	他	農業生物資源研究所	28	65,500	15
28	国	長崎大学	10	17,900	10	30	国	愛媛大学	27	75,500	21
28	国	信州大学	10	15,900	8	31	国	香川大学	26	50,300	22
28	国	新潟大学	10	13,700	10	32	国	宇都宮大学	25	81,000	29
33	国	奈良女子大学	9	36,800	8	32	国	千葉大学	25	79,400	29
33	国	徳島大学	9	30,900	9	34	国	山口大学	24	50,300	18
33	他	農業生物資源研究所	9	24,400	7	35	国	島根大学	23	41,900	28
33	国	山口大学	9	18,000	9	36	国	琉球大学	21	50,300	20
33	国	埼玉大学	9	15,200	7	37	国	高知大学	20	60,500	24
38	国	金沢大学	8	37,600	11	37	国	佐賀大学	20	39,700	18
38	私	慶應義塾大学	8	15,200	8	37	国	弘前大学	20	39,600	19
40	国	山形大学	7	27,900	5	40	私	近畿大学	18	40,100	17
40	国	お茶の水女子大学	7	17,500	5	40	国	茨城大学	18	39,900	20
40	国	香川大学	7	14,900	5	40	公	京都府立大学	18	37,500	16
40	国	旭川医科大学	7	11,000	7	43	国	山形大学	17	38,800	20
44	国	群馬大学	6	31,700	7	43	他	食品総合研究所	17	34,200	12
44	私	早稲田大学	6	14,100	6	45	国	静岡大学	16	50,300	20
44	国	東京農工大学	6	12,400	5	45	私	日本獣医畜産大学	16	28,500	19
44	国	愛媛大学	6	11,200	6	47	公	福井県立大学	13	31,000	16
44	私	東京理科大学	6	10,800	6	47	公	秋田県立大学	13	26,300	10
44	国	三重大学	6	9,300	5	49	他	水産総合研究センター	12	24,500	12
44	国	鹿児島大学	6	7,900	8	50	国	長崎大学	11	48,200	15
44	私	東邦大学	6	7,400	4	50	私	酪農学園大学	11	19,900	15
						50	私	明治大学	11	19,700	14
合計			1,554	4,962,600	1,494	合計			2,529	7,352,200	2,467

表 2-3 生物系「分野」別採択研究課題数上位 50 位 (2005 年度) (2)

金額単位/千円

医歯薬学					
順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	482	1,797,055	456
2	国	大阪大学	435	1,404,200	419
3	国	京都大学	398	1,408,800	346
4	国	東北大学	381	979,600	356
5	国	九州大学	352	1,063,600	340
6	私	慶應義塾大学	287	680,400	279
7	国	岡山大学	283	690,900	269
8	国	東京医科歯科大学	278	875,500	275
9	国	北海道大学	275	821,721	256
10	国	徳島大学	226	569,800	220
11	国	名古屋大学	222	574,100	198
11	国	長崎大学	222	506,000	221
13	国	千葉大学	221	512,400	206
14	国	新潟大学	220	456,000	210
15	国	広島大学	218	476,931	226
16	国	金沢大学	189	392,700	183
17	国	群馬大学	158	353,900	142
18	国	神戸大学	155	342,300	140
18	公	京都府立医科大学	155	341,800	162
20	国	熊本大学	147	397,400	139
20	公	名古屋市立大学	147	301,400	135
22	私	昭和大学	133	230,400	137
23	国	鹿児島大学	132	258,400	136
24	私	日本大学	130	202,800	148
25	国	筑波大学	128	347,800	105
26	私	久留米大学	126	190,600	151
27	国	浜松医科大学	119	268,812	98
28	国	山口大学	118	196,600	126
29	私	日本医科大学	117	174,300	142
30	国	福井大学	113	279,800	76
31	公	札幌医科大学	111	293,400	110
32	私	北里大学	110	166,400	128
33	私	東京女子医科大学	107	183,957	121
34	私	自治医科大学	102	170,200	104
35	公	大阪市立大学	99	202,900	103
36	私	順天堂大学	97	182,300	87
37	国	愛媛大学	96	248,500	102
38	国	岐阜大学	95	175,800	97
39	私	東京慈恵会医科大学	93	130,100	125
40	国	信州大学	92	183,300	98
40	国	鳥取大学	92	156,200	86
42	公	奈良県立医科大学	91	154,000	78
43	私	岩手医科大学	89	141,300	89
44	公	横浜市立大学	88	235,700	82
45	私	産業医科大学	87	153,100	89
46	国	富山医科薬科大学	86	174,600	88
47	国	山形大学	85	149,900	80
48	他	理化学研究所	84	247,200	66
49	国	三重大学	81	205,800	104
50	国	秋田大学	78	154,900	82
合計			12,163	27,649,116	11,849

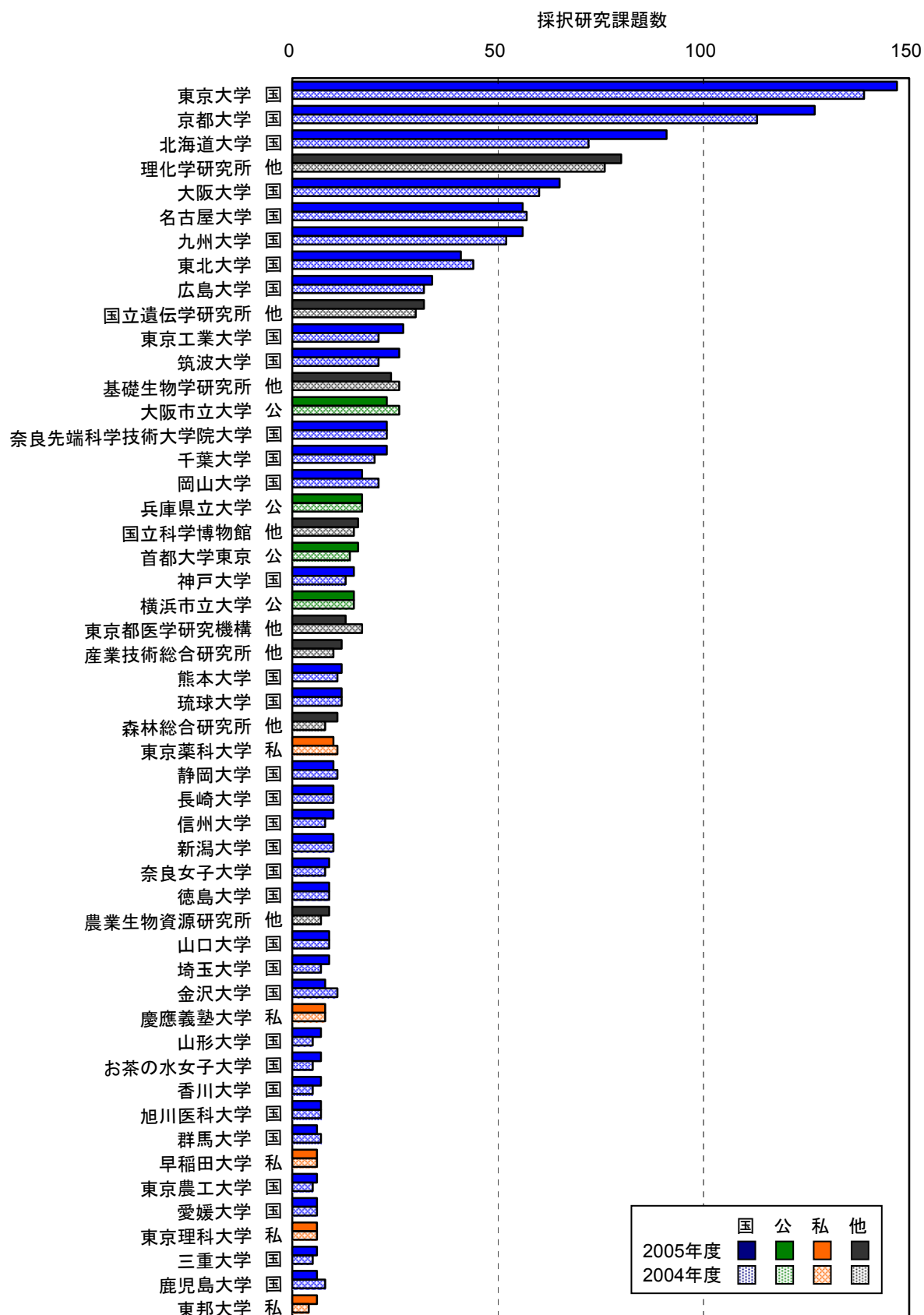


図 2 - 3 生物学 採択研究課題数上位 50 位 (2005 年度)

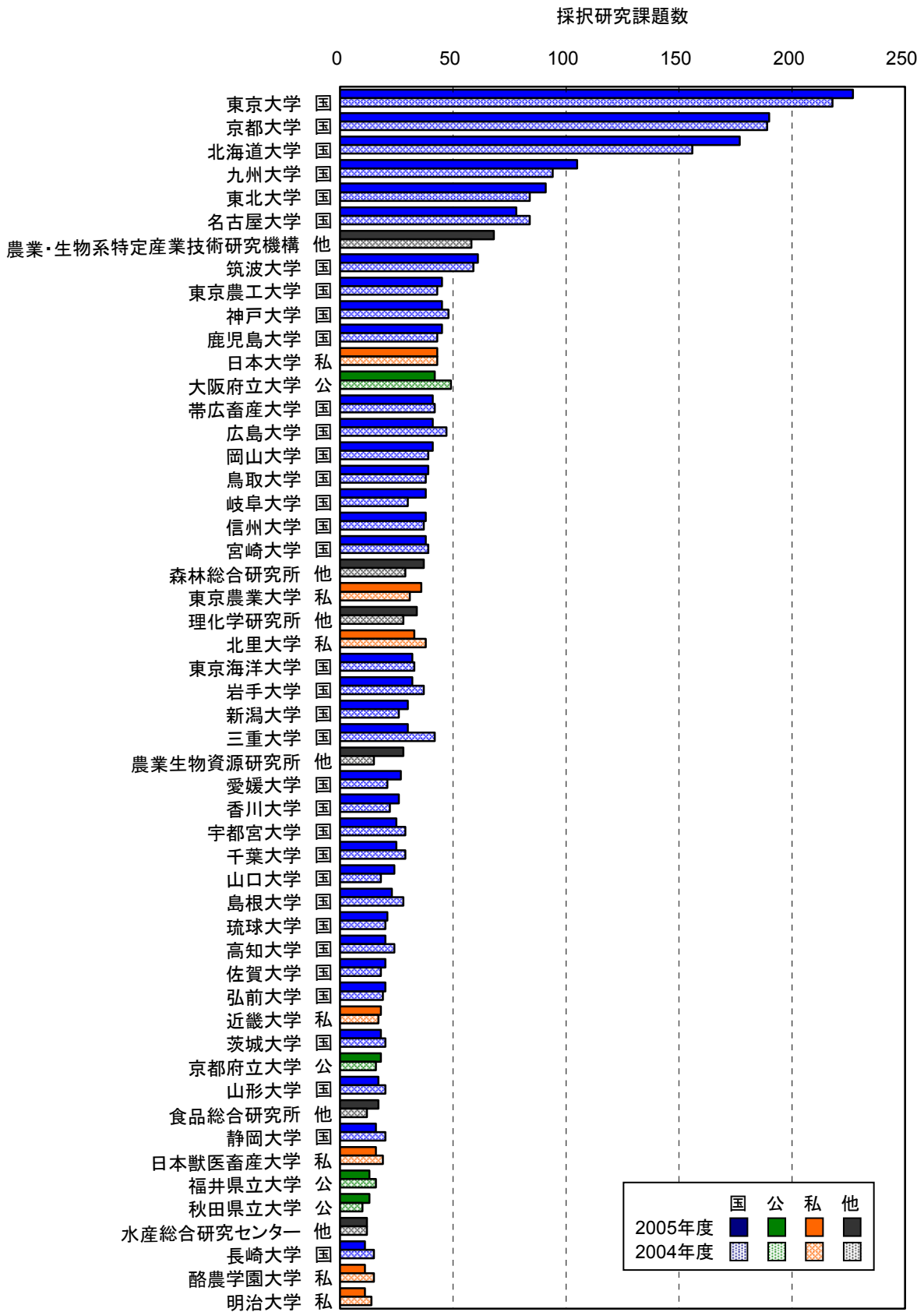


図2-4 農学 採択研究課題数上位50位 (2005年度)

採択研究課題数

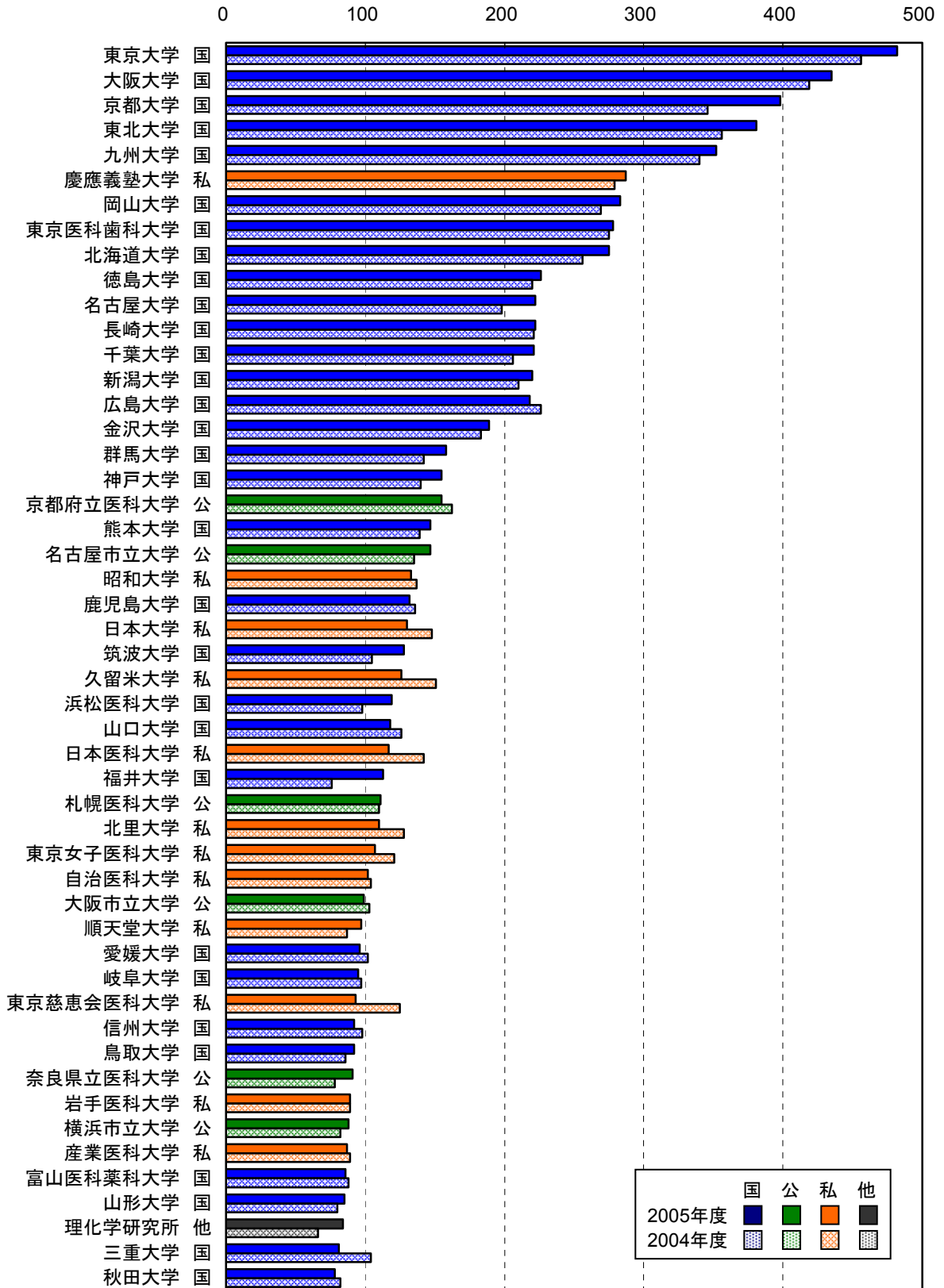


図2-5 医歯薬学 採択研究課題数上位50位 (2005年度)

2 分野別

2-1 生物学

分野：生物学の中の基礎生物学、生物科学、人類学の「分科」ごとの採択研究課題数を図2-6の円グラフに示す。

図2-6から明らかなように、基礎生物学、生物科学の「分科」に比べて、人類学の採択研究課題数は基礎生物学の約5分の1、生物科学の約6分の1と小さく、他の「分科」の「細目」に相当する採択研究課題数の規模となっている。このため、単年度のみでの採択研究課題数を用いた大学間の研究活性化度の比較を行う場合は、統計的な意味が他の分科と異なる点に多少注意する必要がある。

2004年度と比較すると、分野：生物学全体の採択研究課題数は約4%増えているが、「分科」により採択研究課題数の増分には差があることがわかる。採択研究課題数が少ない分科：人類学では採択研究課題数が約11%も伸びている。これに対して、分科：基礎生物学では採択研究課題数が1件減少している。

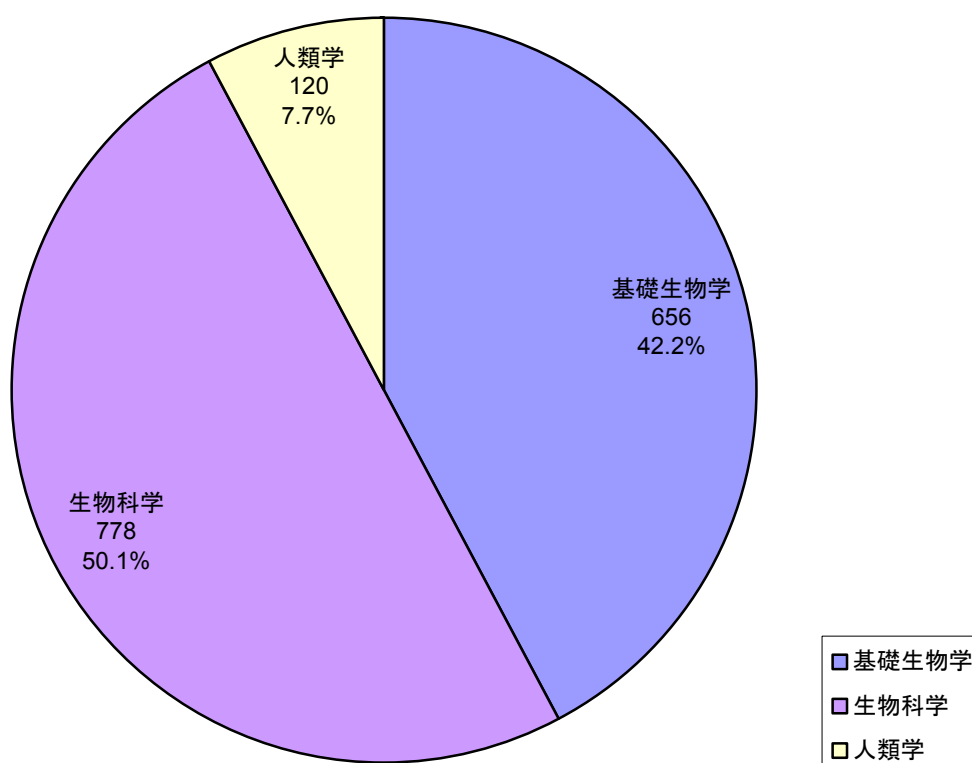


図2-6 2005年度の生物学「分科」別採択研究課題数

以下、基礎生物学、生物科学、人類学の各「分科」について、上位30位までを表にまとめ、表2-4～2-5に示す。表に対応した各「分科」の機関別の棒グラフを図2-7～2-8に示す。分科：人類学は採択研究課題数が少ないので、棒グラフでは省略することとする。

表 2-4～2-5 と図 2-7～2-8 で一目瞭然であるが、まず、分科：基礎生物学では、北海道大学、京都大学が採択研究課題数を伸ばしている。

分科：生物科学は、1 位の東京大学と 2 位の理化学研究所が採択研究課題数を大きく伸ばしている。

分科：人類学では、2004 年度と比較すると、前年度の採択研究課題数がなかった長崎ウエスレヤン大学、豊田中央研究所が現れている。

表2-4 生物学「分科」別採択研究課題数上位30位(2005年度)(1)

金額単位/千円

基礎生物学					生物科学						
順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数	順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	東京大学	58	257,200	57	1	国	東京大学	82	368,500	72
1	国	北海道大学	58	235,300	49	2	他	理化学研究所	64	173,300	54
3	国	京都大学	52	183,100	42	3	国	京都大学	57	223,900	53
4	国	九州大学	24	72,100	24	4	国	大阪大学	52	246,700	49
5	国	東北大学	22	67,000	24	5	国	名古屋大学	37	171,200	37
6	国	広島大学	21	67,400	19	6	国	北海道大学	29	76,800	21
7	国	名古屋大学	19	72,600	20	7	国	九州大学	27	80,800	23
8	国	筑波大学	17	57,700	12	8	他	国立遺伝学研究所	21	103,500	23
9	他	理化学研究所	16	33,100	21	9	国	東京工業大学	20	77,700	15
10	公	首都大学東京	14	43,800	14	10	国	東北大学	16	59,000	17
10	国	千葉大学	14	35,500	14	10	国	奈良先端科学技術大学院大学	16	46,800	15
12	公	大阪市立大学	13	30,300	12	12	国	広島大学	13	23,000	13
13	他	基礎生物学研究所	12	47,100	14	13	他	基礎生物学研究所	12	47,500	12
13	国	岡山大学	12	29,700	14	13	公	兵庫県立大学	12	26,400	11
15	国	大阪大学	11	45,900	9	15	他	東京都医学研究機構	11	27,700	13
16	他	国立遺伝学研究所	10	29,300	7	16	他	産業技術総合研究所	10	32,500	8
16	他	国立科学博物館	10	21,400	10	16	公	横浜市立大学	10	26,500	10
16	国	琉球大学	10	15,000	9	18	国	筑波大学	8	27,500	9
19	他	森林総合研究所	9	13,600	6	18	国	熊本大学	8	26,400	9
20	国	東京工業大学	7	32,800	6	18	私	東京薬科大学	8	20,400	9
20	国	神戸大学	7	22,600	4	21	国	神戸大学	7	20,500	9
20	国	奈良先端科学技術大学院大学	7	21,800	8	22	国	群馬大学	6	31,700	7
23	他	農業生物資源研究所	6	19,600	5	22	国	徳島大学	6	19,200	7
23	国	静岡大学	6	15,000	8	22	国	香川大学	6	14,100	4
23	国	信州大学	6	12,000	4	22	国	千葉大学	6	12,500	4
23	国	埼玉大学	6	11,100	5	22	国	山口大学	6	12,500	5
27	公	横浜市立大学	5	17,700	5	22	私	慶應義塾大学	6	11,900	6
27	国	奈良女子大学	5	8,800	6	22	国	旭川医科大学	6	10,300	6
27	公	兵庫県立大学	5	8,600	6	22	国	新潟大学	6	9,800	5
27	国	三重大大学	5	8,300	4	30	国	岡山大学	5	20,200	7
27	国	長崎大学	5	5,400	6	30	国	金沢大学	5	7,100	8
27	国	富山大学	5	4,300	3	30	私	久留米大学	5	6,900	7
合計			656	1,927,100	657	合計			778	2,520,800	729

表 2-5 生物学「分科」別採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度) (2)

金額単位/千円

人類学					
順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数
			件数	金額	
1	国	京都大学	18	58,800	18
2	公	大阪市立大学	7	30,400	7
2	国	東京大学	7	27,900	10
4	他	国立科学博物館	6	46,400	5
5	国	九州大学	5	39,400	5
6	国	北海道大学	4	29,800	2
7	国	千葉大学	3	19,600	2
7	国	長崎大学	3	9,300	3
7	私	長崎ウエスレヤン大学	3	8,700	0
7	国	東北大学	3	7,700	3
7	私	関西医科大学	3	3,300	2
7	公	石川県立看護大学	3	2,700	3
13	他	森林総合研究所	2	27,000	2
13	私	大阪国際大学	2	21,100	1
13	私	芝浦工業大学	2	13,900	2
13	他	日本モンキーセンター	2	9,000	1
13	国	和歌山大学	2	7,600	1
13	他	豊田中央研究所	2	5,700	0
13	国	浜松医科大学	2	4,600	3
13	私	関西大学	2	3,200	1
13	公	県立長崎シーボルト大学	2	3,100	1
13	国	大阪大学	2	2,300	2
13	国	佐賀大学	2	2,300	2
13	私	日本大学	2	2,300	1
合計			120	514,700	108

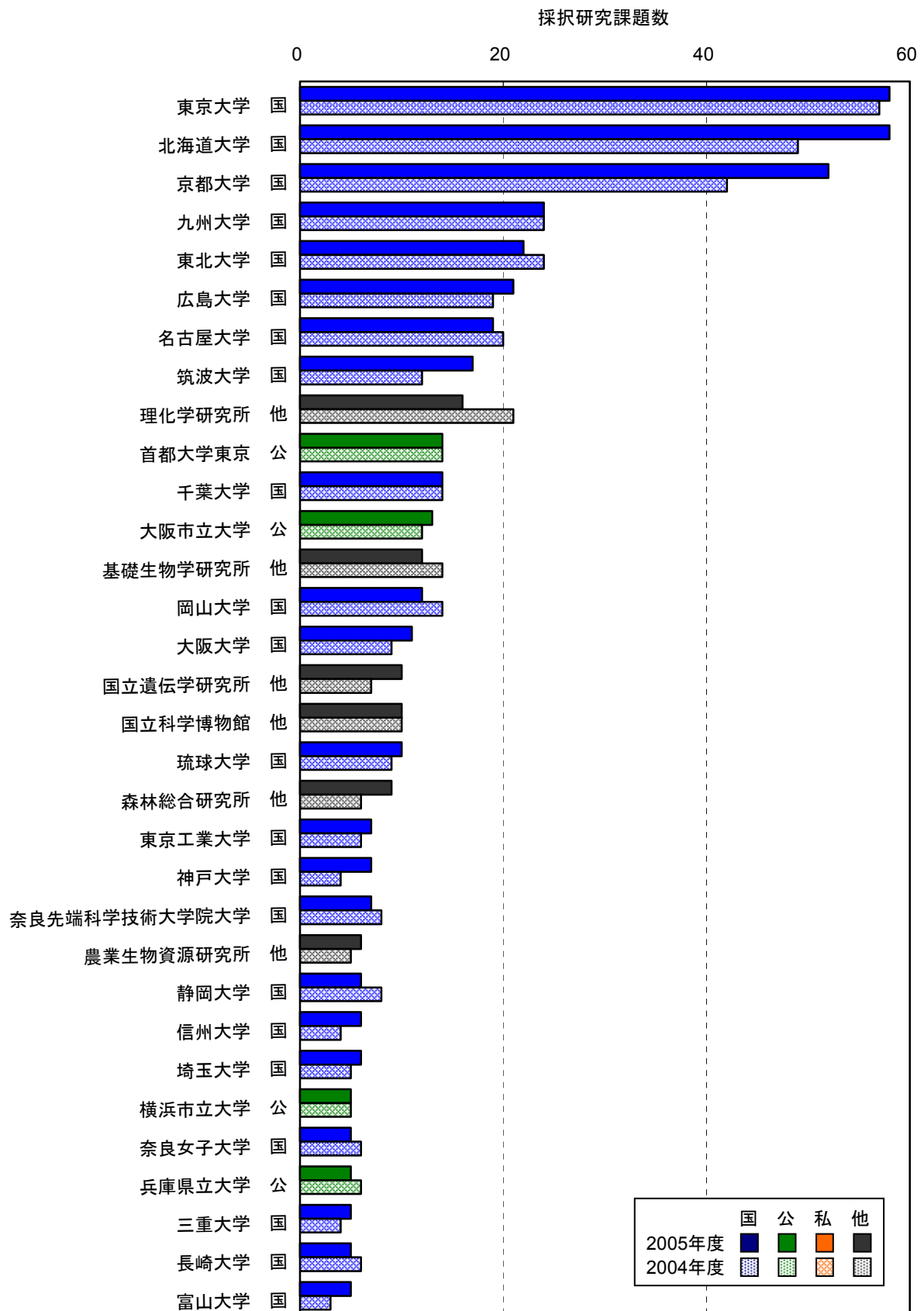


図 2-7 基礎生物学 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度)

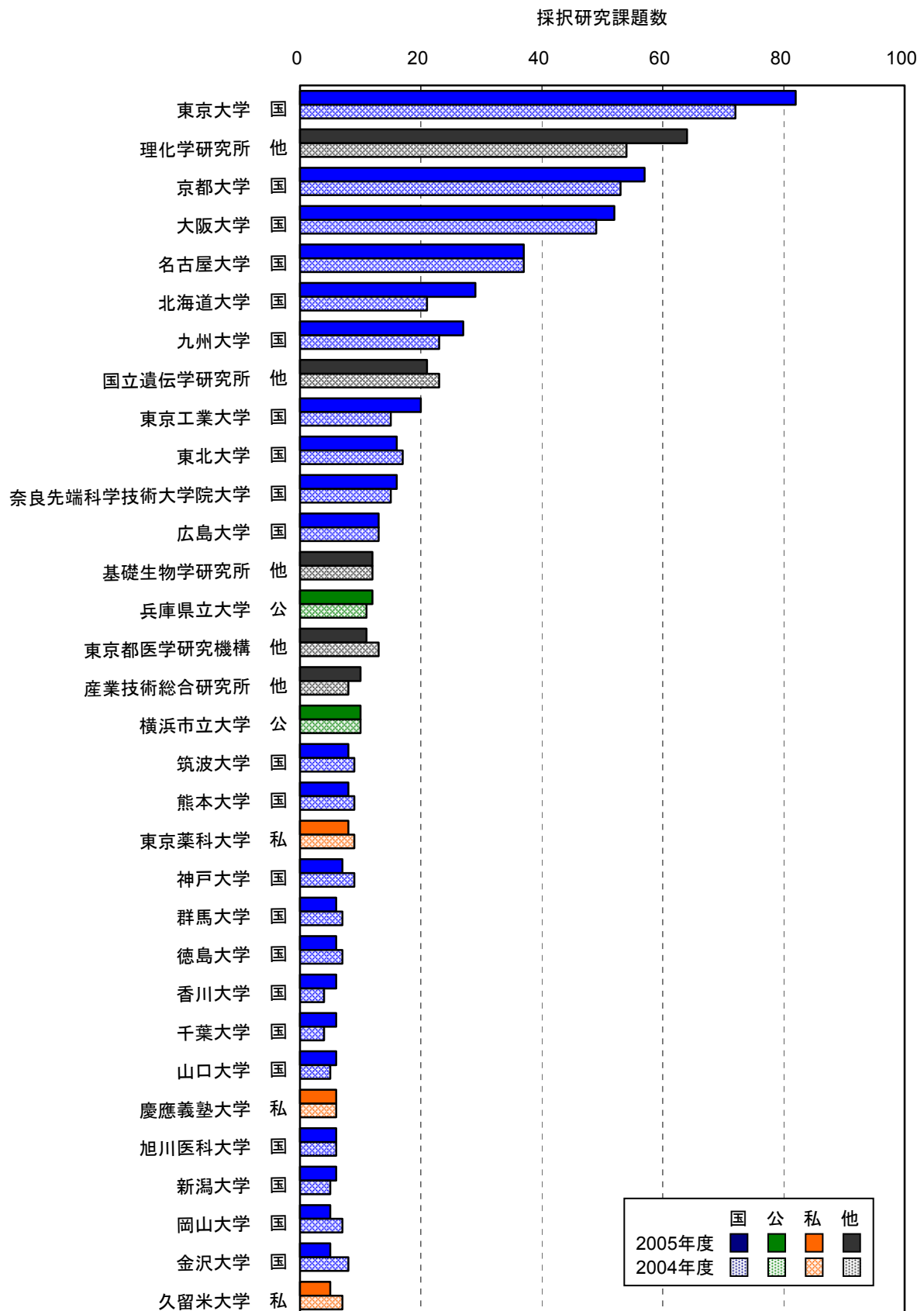


図 2 - 8 生物科学 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度)

2-2 農学

分野：農学の中の農学、農芸化学、林学、水産学、農業経済学、農業工学、畜産学・獣医学、境界農学の「分科」ごとの採択研究課題数を図2-9の円グラフに示す。分科：農業経済学や境界農学のように規模の比較的小さい「分科」を除くと、「分科」別の採択研究課題数にあまり大きな偏りが無い。

2004年度と比較すると、採択研究課題数が約3%増えた分野：農学の中で、採択研究課題数の前年比伸び率がもっとも大きいのは分科：境界農学であり約7%伸びている。これに対して、分科：農業経済学、農業工学では採択研究課題数が減少している。

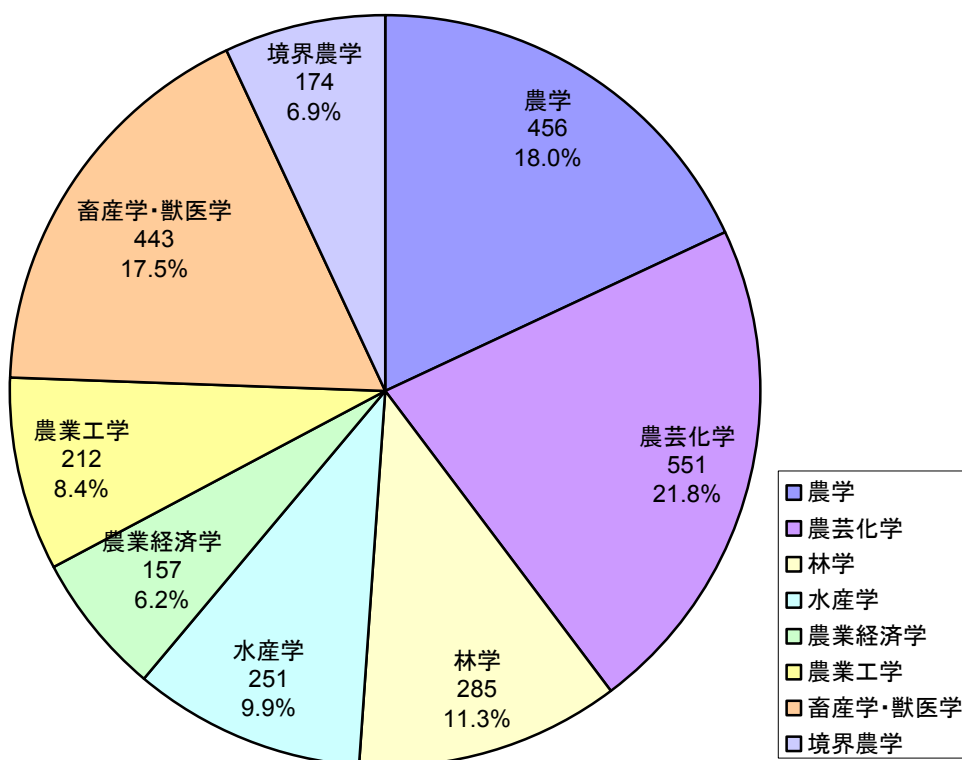


図2-9 2005年度の農学「分科」別採択研究課題数

以下、農学、農芸化学、林学、水産学、農業経済学、農業工学、畜産学・獣医学、境界農学の各「分科」について、上位30位までを表にまとめ、表2-6～2-9に示す。表に対応した各「分科」の機関別の棒グラフを図2-10～2-15に示す。分科：農業経済学、境界農学は採択研究課題数が少ないので、棒グラフでは省略することとする。

まず、分科：農学では、農業・生物系特定産業技術研究機構や農業生物資源研究所などの研究機関が採択研究課題数を伸ばしている。

分科：農芸化学では、1位の京都大学が採択研究課題数を減らし、2位の東京大学との差が小さくなっている。

分科：林学では、上位研究機関が採択研究課題数を増やし、中位以降の研究機関の多くが採択研究

課題数を減らしている。また、前年度の採択研究課題数がなかった研究機関が現れている。

分科：水産学では、大幅な変化はないが、前年度の採択研究課題数がなかった研究機関が現れている。

分科：畜産学・獣医学でも、大幅な変化はないが、東北大学が5位に躍進している。

分科：農業経済学、農業工学、境界農学では、採択研究課題数が少ないため採択研究課題1～2件の差で順位が上下するが、基本的に変化はないといえる。

表2-6 農学「分科」別採択研究課題数上位30位(2005年度)(1)

金額単位/千円

農学					農芸化学						
順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数	順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	東京大学	37	183,200	32	1	国	京都大学	56	171,800	67
2	他	農業・生物系特定産業技術研究機構	27	55,300	24	2	国	東京大学	54	269,700	49
3	国	京都大学	25	95,300	26	3	国	東北大学	32	114,200	30
3	国	北海道大学	25	83,600	19	4	国	北海道大学	25	114,200	18
5	国	名古屋大学	21	94,000	21	5	国	名古屋大学	20	83,500	27
6	国	九州大学	20	65,700	19	5	国	九州大学	20	75,900	15
7	国	筑波大学	17	45,700	17	7	他	理化学研究所	15	38,200	12
7	他	農業生物資源研究所	17	41,500	9	8	私	日本大学	13	28,500	13
9	国	岡山大学	15	47,200	16	8	他	食品総合研究所	13	26,300	9
10	国	千葉大学	14	36,400	18	10	国	広島大学	12	48,400	12
11	国	東北大学	12	35,200	14	11	国	筑波大学	11	28,300	9
11	国	信州大学	12	30,300	9	12	国	岐阜大学	9	24,000	8
13	国	東京農工大学	11	51,100	10	13	国	新潟大学	8	23,600	6
13	国	神戸大学	11	37,900	13	13	国	山形大学	8	22,800	8
13	国	佐賀大学	11	21,800	7	13	国	神戸大学	8	20,200	9
16	国	香川大学	8	18,200	5	13	国	岡山大学	8	19,200	6
17	公	大阪府立大学	7	19,700	7	13	国	鳥取大学	8	12,600	9
17	公	京都府立大学	7	16,400	5	18	国	東京工業大学	7	15,800	3
17	他	理化学研究所	7	15,700	4	18	公	富山県立大学	7	14,900	6
17	国	鳥取大学	7	13,400	7	18	国	信州大学	7	9,500	8
21	国	三重大学	6	15,800	9	21	国	東京農工大学	6	20,400	3
21	国	宮崎大学	6	11,500	4	21	私	東京農業大学	6	15,700	6
21	私	東京農業大学	6	9,600	5	21	公	大阪府立大学	6	13,700	9
24	国	宇都宮大学	5	22,700	5	21	国	徳島大学	6	11,600	3
24	私	玉川大学	5	21,800	3	21	国	香川大学	6	10,600	5
24	国	島根大学	5	15,400	6	26	私	中部大学	5	16,400	4
24	国	岩手大学	5	12,300	8	26	国	愛媛大学	5	14,000	4
24	私	明治大学	5	11,600	4	26	公	静岡県立大学	5	13,500	5
24	国	弘前大学	5	10,200	4	26	国	弘前大学	5	10,700	5
24	国	新潟大学	5	6,700	6	26	国	静岡大学	5	10,100	5
24	公	兵庫県立大学	5	4,900	4	26	国	佐賀大学	5	9,700	5
						26	公	京都府立大学	5	5,900	3
合計			456	1,351,500	434	合計			551	1,594,000	534

表2-8 農学「分科」別採択研究課題数上位30位(2005年度)(3)

金額単位/千円

農業経済学					農業工学						
順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数	順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	九州大学	10	28,800	9	1	国	東京大学	15	57,600	19
1	私	東京農業大学	10	23,200	10	2	国	神戸大学	13	49,400	10
3	国	東京大学	8	20,700	11	2	国	九州大学	13	30,100	14
4	国	京都大学	7	22,900	10	4	国	北海道大学	12	29,900	13
4	国	北海道大学	7	22,100	6	5	国	京都大学	11	57,300	9
4	国	東北大学	7	13,700	7	6	公	大阪府立大学	8	18,500	10
7	他	農業・生物系特定産業技術研究機構	6	7,400	5	6	他	農業・生物系特定産業技術研究機構	8	17,300	7
8	国	三重大学	5	7,600	5	8	国	岡山大学	7	25,800	7
8	国	島根大学	5	7,100	4	8	国	茨城大学	7	17,500	5
10	国	帯広畜産大学	4	8,900	6	8	国	愛媛大学	7	17,200	5
10	国	新潟大学	4	8,700	2	11	国	筑波大学	6	26,000	6
10	国	香川大学	4	8,400	3	11	国	鳥取大学	6	17,000	5
10	国	筑波大学	4	5,500	3	11	国	宇都宮大学	6	15,100	8
10	国	東京農工大学	4	5,200	3	11	他	農業工学研究所	6	14,200	5
15	国	鳥取大学	3	14,400	3	11	国	岩手大学	6	8,100	6
15	国	千葉大学	3	9,300	3	16	国	東京農工大学	5	20,800	5
15	私	近畿大学	3	9,200	1	16	国	新潟大学	5	20,300	5
15	国	茨城大学	3	3,400	4	16	国	三重大学	5	8,300	6
15	国	神戸大学	3	2,900	5	19	国	千葉大学	4	24,100	4
15	私	日本大学	3	1,700	2	19	私	東京農業大学	4	18,900	3
21	公	福井県立大学	2	8,900	2	19	国	高知大学	4	17,200	5
21	公	秋田県立大学	2	7,000	1	19	国	琉球大学	4	7,900	4
21	国	広島大学	2	6,500	1	19	私	北里大学	4	7,100	5
21	国	信州大学	2	4,500	2	19	国	岐阜大学	4	4,300	4
21	国	宇都宮大学	2	4,200	2	25	国	信州大学	3	5,800	2
21	私	沖縄国際大学	2	4,000	2	25	国	宮崎大学	3	4,800	4
21	私	日本獣医畜産大学	2	3,400	2	25	国	鹿児島大学	3	4,200	4
21	国	岩手大学	2	3,200	0	25	国	弘前大学	3	3,300	5
21	他	農業工学研究所	2	2,000	2	29	国	山形大学	2	6,400	2
						29	国	佐賀大学	2	6,400	2
						29	国	島根大学	2	4,800	2
						29	他	食品総合研究所	2	4,500	2
						29	私	日本大学	2	2,900	2
						29	国	山口大学	2	2,700	2
						29	公	秋田県立大学	2	2,100	1
						29	国	香川大学	2	1,400	3
合計			157	324,100	160	合計			212	618,300	221

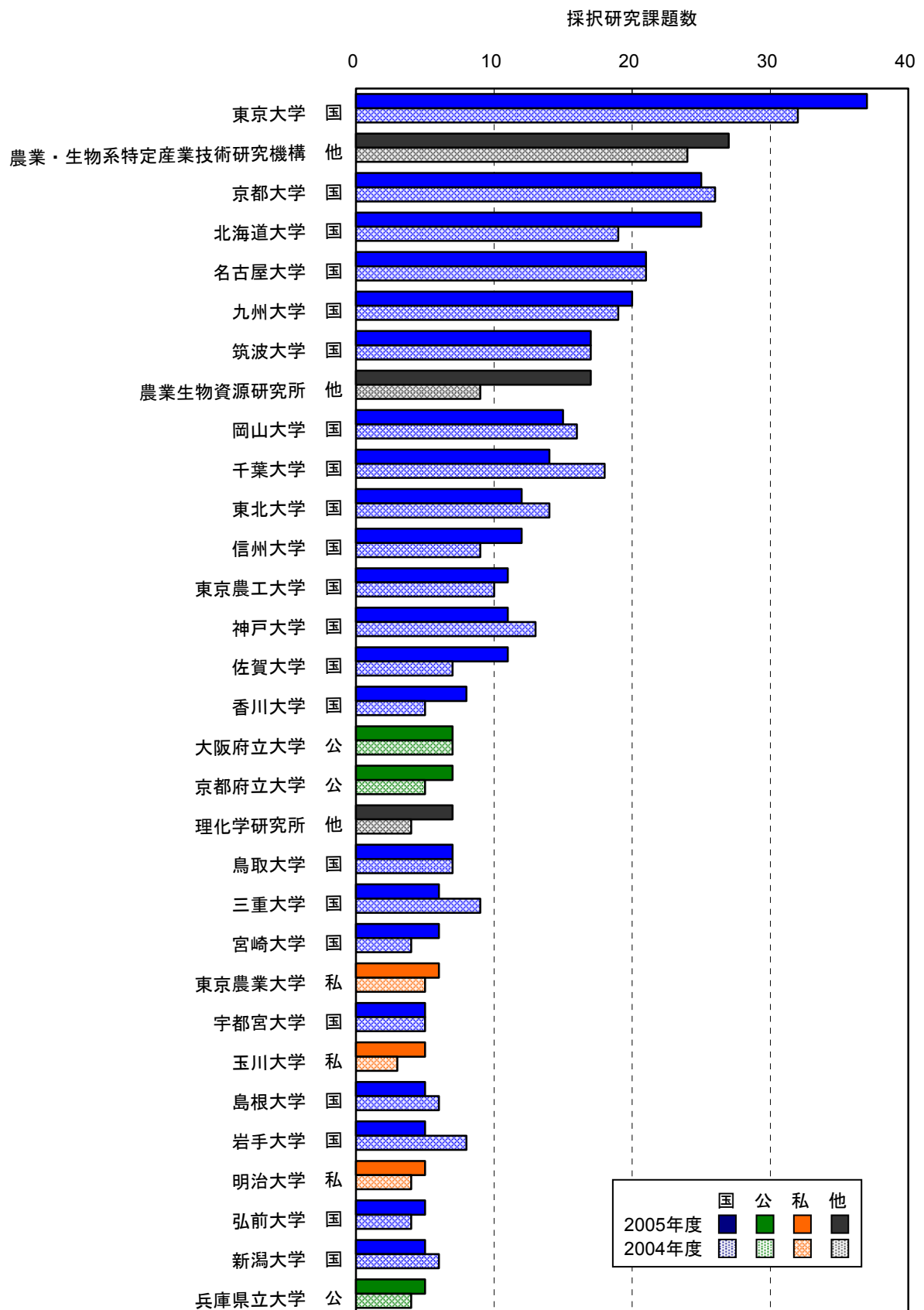


図2-10 農学 採択研究課題数上位30位（2005年度）

採択研究課題数

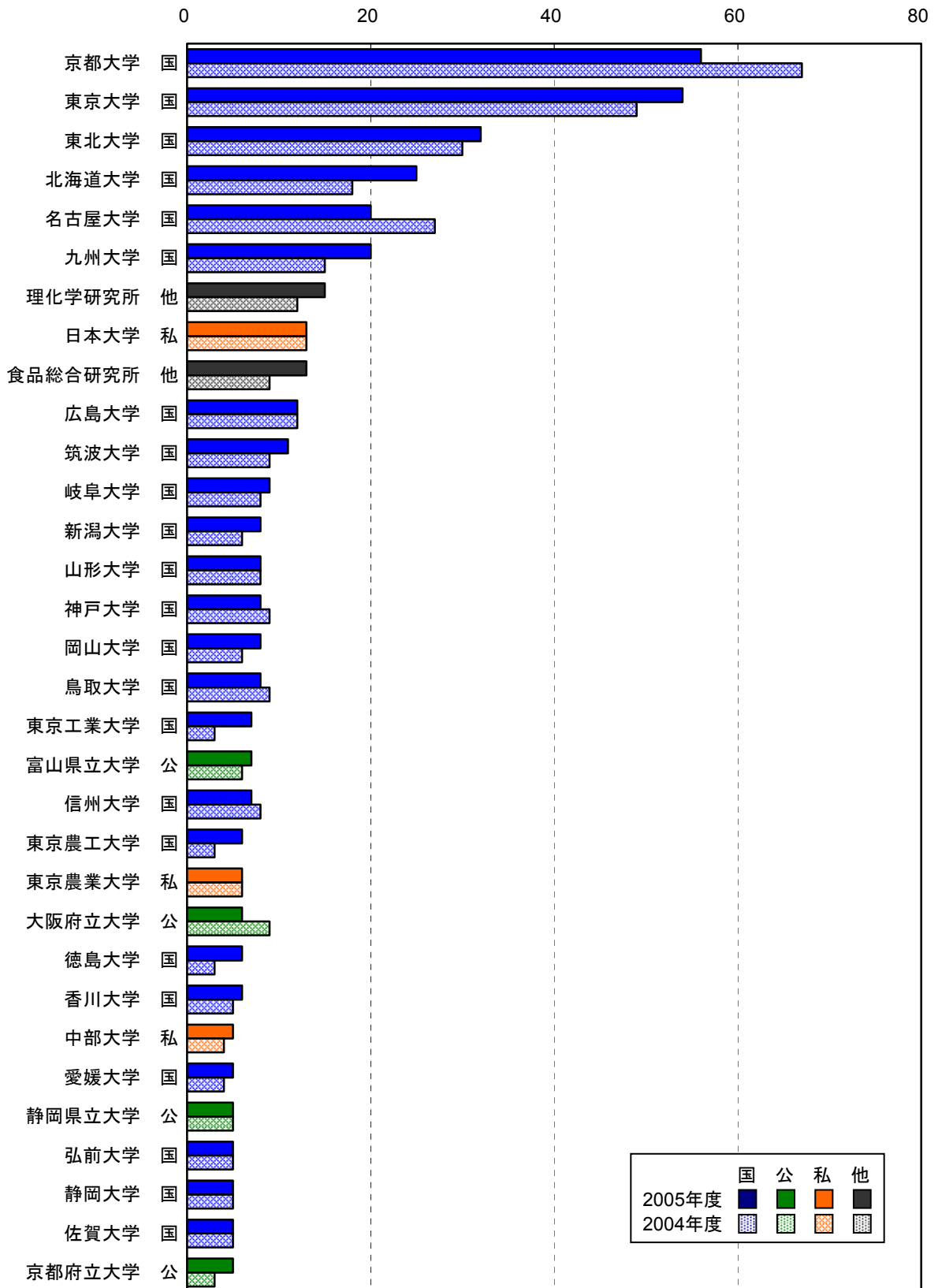


図 2 - 1 1 農芸化学 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度)

採択研究課題数

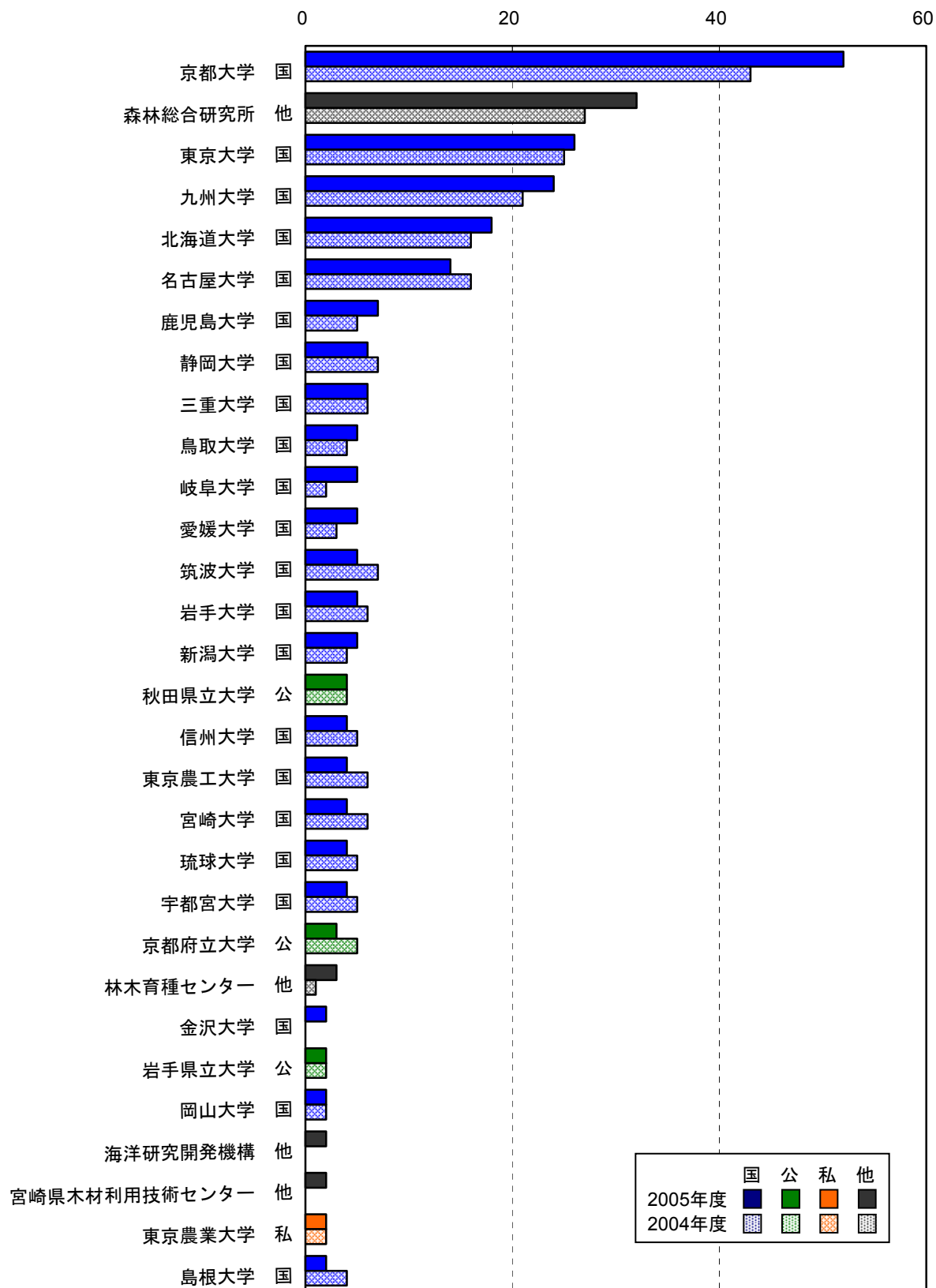


図 2 - 1 2 林学 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度)

採択研究課題数

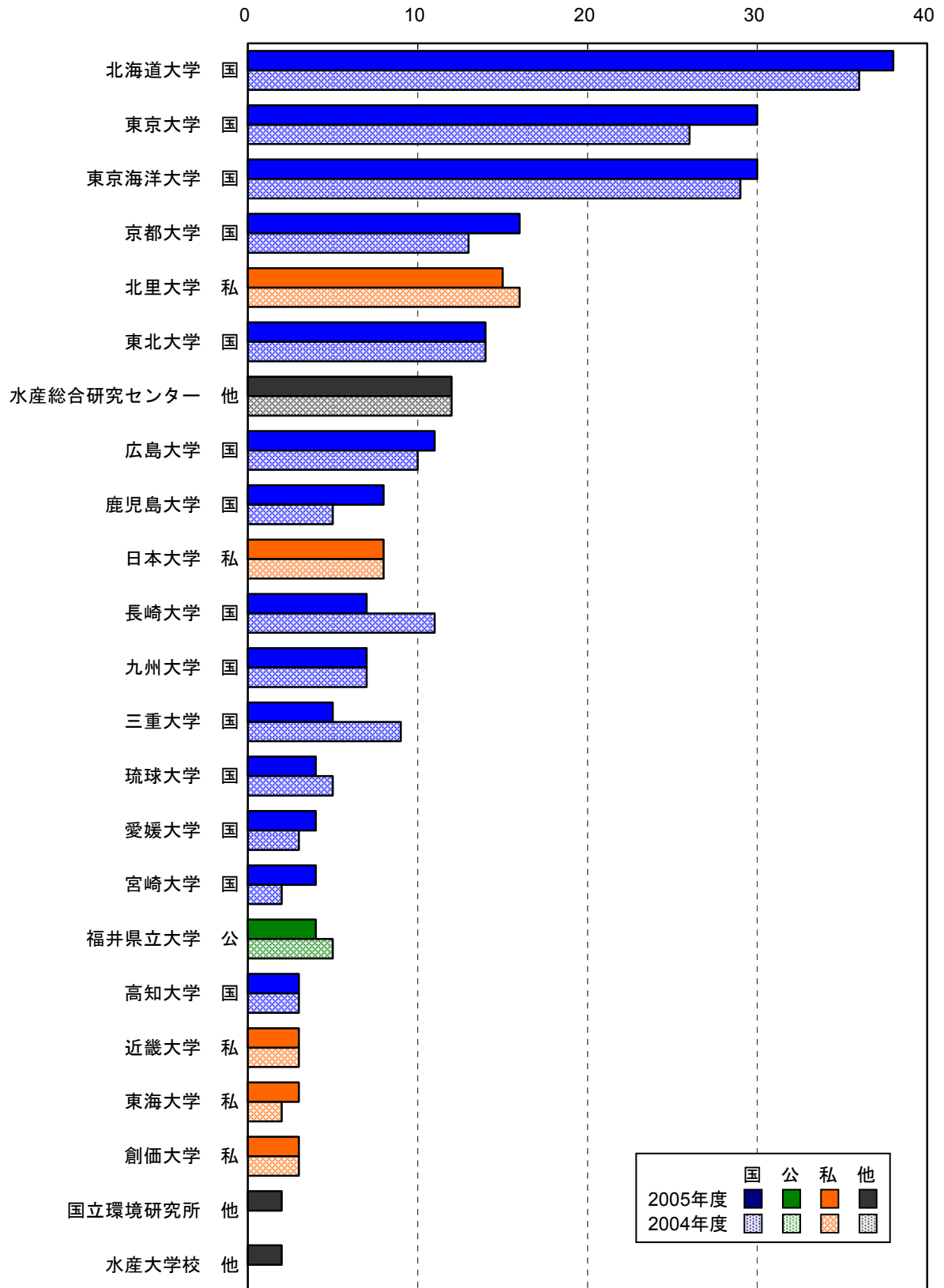


図2-13 水産学 採択研究課題数上位30位 (2005年度)

採択研究課題数

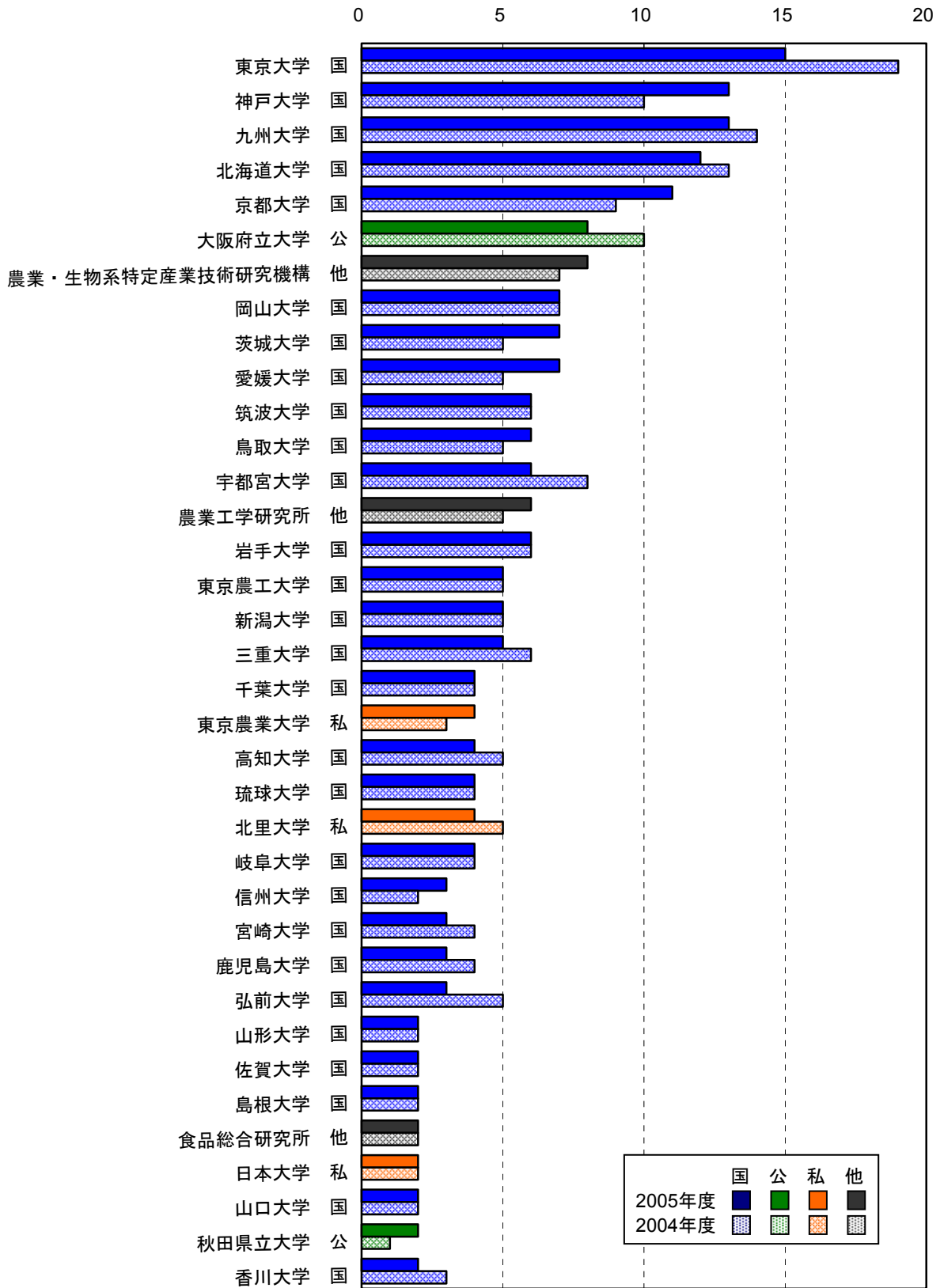


図 2-14 農業工学 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度)

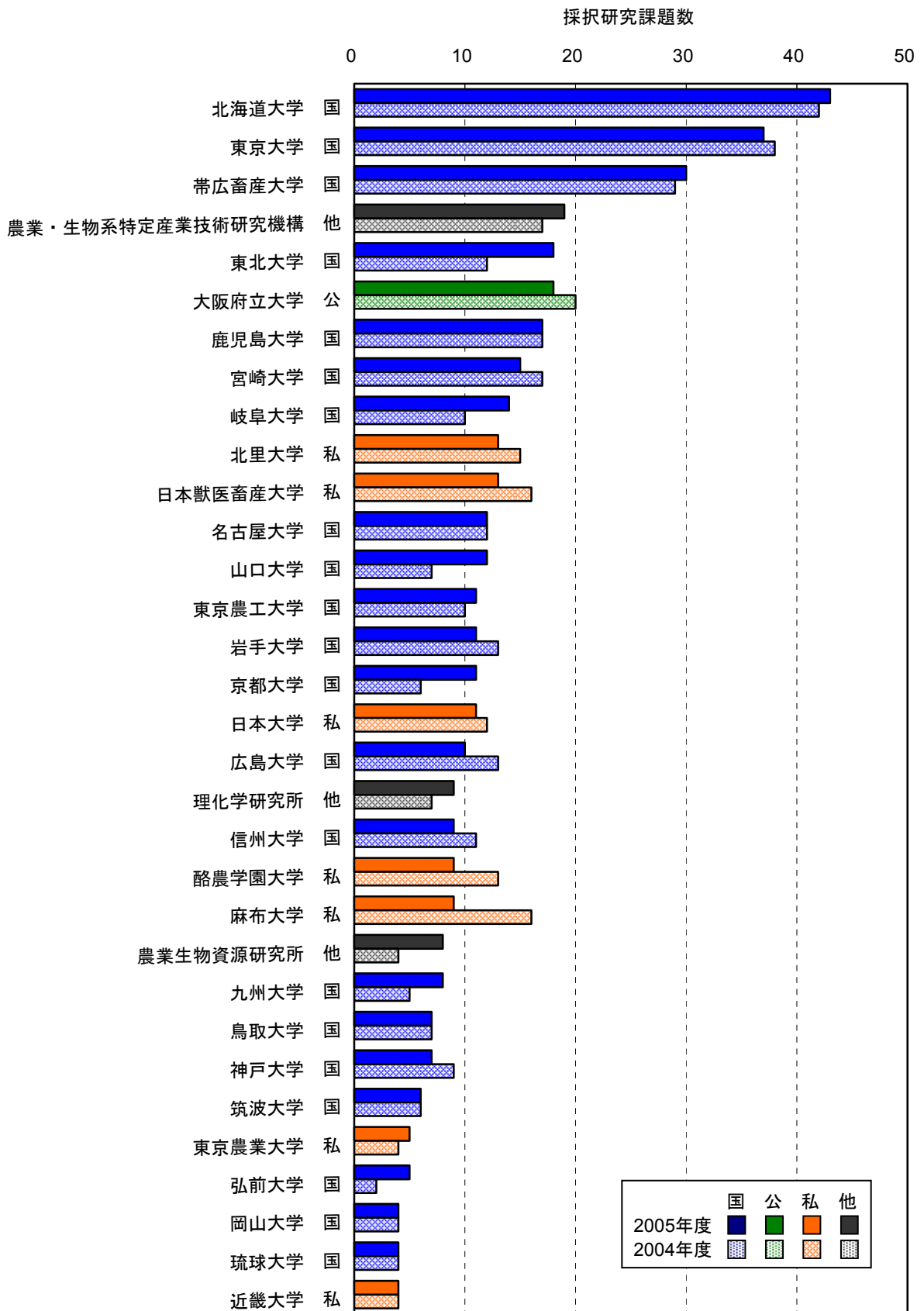


図 2 - 1 5 畜産学・獣医学 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度)

2-3 医歯薬学

分野：医歯薬学の中の薬学、基礎医学、境界医学、社会医学、内科系臨床医学、外科系臨床医学、歯学、看護学の「分科」ごとの採択研究課題数を図2-16の円グラフに示す。

図2-16から明らかなように、分科：内科系臨床医学、外科系臨床医学のように「分野」規模の「分科」がある一方で、分科：境界医学、社会医学のように「細目」規模の「分科」もある。このため、単年度のみでの採択研究課題数を用いた大学間の研究活性度の比較を行う場合は、統計的な意味が他の分科と異なる点に多少注意する必要がある。

2004年度と比較すると、採択研究課題数が約3%しか伸びなかった分野：医歯薬学の中で、採択研究課題数の前年比伸び率がもっとも大きいのは、分科：看護学であり、約12%伸びている。これに対して、規模の大きい分科：外科系臨床医学では採択研究課題数はほとんど変化がない。

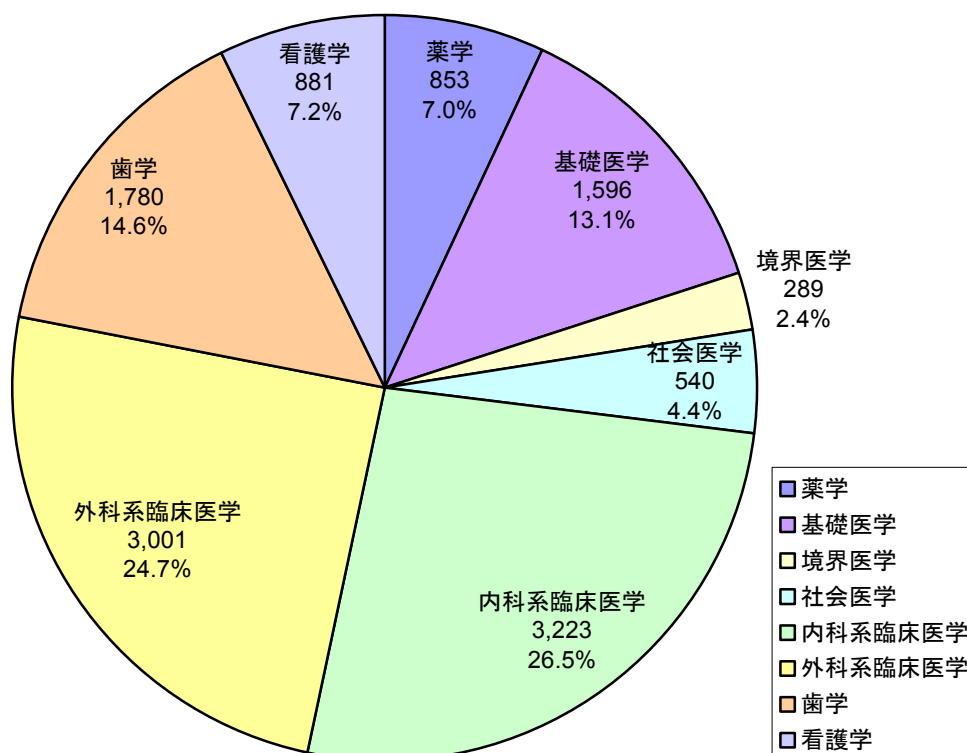


図2-16 2005年度の医歯薬学「分科」別採択研究課題数

以下、薬学、基礎医学、境界医学、社会医学、内科系臨床医学、外科系臨床医学、歯学、看護学の各「分科」について、上位30位までを表にまとめ、表2-10～2-13に示す。表に対応した各「分科」の機関別の棒グラフを図2-17～2-23に示す。分科：境界医学は採択研究課題数が少ないので、棒グラフでは省略することとする。

分科：薬学では、ほとんど順位に変化はないが、東京大学、国立医薬品食品衛生研究所、徳島文理大学が採択研究課題数を伸ばしている。

分科：基礎医学では、京都大学が大幅に採択研究課題数を伸ばし、1位の大阪大学に迫っている。北海道大学、名古屋大学、理化学研究所、浜松医科大学などが採択研究課題数を伸ばしている。

分科：境界医学、社会医学でも、大きな順位の変動はない。分科：境界医学で大阪大学が採択研究課題数を減らし前年度の同率1位から4位に後退し、これとは対照的に福岡大学が5位に進出している。分科：社会医学では、和歌山県立医科大学が採択研究課題数を倍増させ7位に進出し、採択研究課題数を伸ばした福井大学、北里大学が20位に顔を出している。

分科：内科系臨床医学では、上位の5研究機関はそれぞれ採択研究課題数を伸ばしたのに対して、6位の大阪大学が採択研究課題数を減らしている。中位以降では、神戸大学が採択研究課題数を伸ばし、京都府立医科大学、自治医科大学、東京女子医科大学が採択研究課題数を10件以上減らしている。

分科：外科系臨床医学では、大阪大学、京都大学が採択研究課題数を伸ばし、1位の東京大学に肉薄している。また、2004年度に6位に躍進した京都府立医科大学が採択研究課題数を減らし、日本医科大学、東京慈恵会医科大学が採択研究課題数を10件以上減らしている。

分科：歯学では、1位の東京医科歯科大学、18位の日本大学が採択研究課題数を減らしているが、大幅な順位の変動はない。

2005年度も採択研究課題数が大幅に伸びた分科：看護学は、公立大学が多く顔を出すのが特徴であることに変わりはない。多くの機関が採択研究課題数を伸ばしているが、大阪府立大学が採択研究課題数を伸ばし1位となっている。

この一連の、科学研究費補助金の採択研究課題数による大学・大学院の研究活性度の調査研究にあたって、データの整理、編集、図表の作成をお願いした東京大学生産技術研究所の斉藤加余子氏に感謝の意を表す。

表2-10 医歯薬学「分科」別採択研究課題数上位30位(2005年度)(1)

金額単位/千円

薬学					基礎医学						
順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数	順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	東京大学	65	299,700	54	1	国	大阪大学	79	304,200	78
2	国	京都大学	45	204,700	48	2	国	京都大学	75	356,900	64
3	国	北海道大学	39	147,900	34	3	国	東京大学	64	338,800	56
4	国	東北大学	34	146,200	30	4	国	九州大学	48	160,000	46
5	国	千葉大学	30	78,200	32	5	国	東北大学	39	128,600	40
6	私	東京薬科大学	27	38,500	25	6	他	国立感染症研究所	38	85,200	35
7	国	大阪大学	26	97,100	25	7	国	北海道大学	37	141,400	31
7	公	名古屋市立大学	26	59,800	27	8	国	長崎大学	35	110,400	44
7	私	帝京大学	26	44,000	22	9	国	名古屋大学	33	95,900	26
10	国	熊本大学	24	59,500	28	9	国	千葉大学	33	79,400	32
10	他	国立医薬品食品衛生研究所	24	55,000	17	11	国	金沢大学	29	67,600	28
12	国	金沢大学	23	45,300	27	12	国	筑波大学	28	97,300	23
13	国	富山医科薬科大学	19	34,700	22	13	国	熊本大学	27	85,300	20
14	他	理化学研究所	18	48,300	18	13	私	慶應義塾大学	27	69,800	27
14	私	昭和大学	18	32,000	19	13	国	徳島大学	27	57,700	29
16	国	九州大学	17	57,100	18	16	他	理化学研究所	26	86,000	19
16	私	徳島文理大学	17	35,200	10	16	国	神戸大学	26	76,200	26
16	公	静岡県立大学	17	35,100	15	16	私	北里大学	26	44,300	30
19	国	徳島大学	16	53,400	20	19	国	広島大学	23	62,900	34
19	国	広島大学	16	41,000	11	20	国	群馬大学	22	66,400	22
19	私	京都薬科大学	16	25,500	21	21	国	東京医科歯科大学	21	59,100	24
19	私	北里大学	16	25,300	15	22	国	福井大学	18	55,000	15
23	国	長崎大学	14	36,300	13	22	国	新潟大学	18	39,600	18
23	私	星薬科大学	14	17,900	16	24	国	岡山大学	17	45,000	22
25	国	岡山大学	13	34,400	12	24	国	浜松医科大学	17	43,200	11
26	私	東京理科大学	12	37,500	8	24	国	琉球大学	17	23,200	17
26	私	神戸薬科大学	12	22,100	16	27	公	横浜市立大学	16	67,400	12
28	公	岐阜薬科大学	10	18,100	13	27	国	愛媛大学	16	55,800	15
28	私	東北薬科大学	10	14,900	10	27	私	藤田保健衛生大学	16	36,100	15
30	私	明治薬科大学	9	13,000	8	30	他	生理学研究所	15	63,200	10
						30	私	順天堂大学	15	39,000	16
						30	公	名古屋市立大学	15	35,100	12
						30	他	国立がんセンター	15	28,700	13
						30	他	愛知県がんセンター	15	27,800	13
合計			853	2,212,700	833	合計			1,596	4,473,600	1,568

表2-1-1 医歯薬学「分科」別採択研究課題数上位30位(2005年度)(2)

金額単位/千円

境界医学					社会医学						
順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数	順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	京都大学	14	54,000	12	1	国	名古屋大学	21	74,500	16
2	国	東北大学	12	20,600	12	2	私	産業医科大学	16	33,000	16
3	国	東京大学	10	14,400	11	3	国	東北大学	15	32,400	11
4	国	大阪大学	9	17,000	12	4	国	東京大学	13	25,900	12
5	国	名古屋大学	8	22,600	7	5	公	大阪市立大学	11	42,200	9
5	私	福岡大学	8	20,300	5	5	国	長崎大学	11	30,100	8
5	国	岡山大学	8	16,500	6	7	公	京都府立医科大学	10	34,600	9
8	国	九州大学	7	23,000	6	7	公	和歌山県立医科大学	10	25,800	5
8	国	岐阜大学	7	21,900	4	7	他	大阪府立公衆衛生研究所	10	22,900	8
8	国	浜松医科大学	7	21,300	5	10	国	滋賀医科大学	9	41,900	7
8	国	信州大学	7	13,300	4	10	国	北海道大学	9	26,400	8
8	国	東京医科歯科大学	7	10,500	6	10	国	筑波大学	9	25,500	8
13	国	長崎大学	6	15,000	3	10	国	岡山大学	9	17,300	9
13	国	山口大学	6	7,500	5	10	国	新潟大学	9	13,800	10
13	私	昭和大学	6	4,900	7	15	国	三重大学	8	32,100	7
16	公	京都府立医科大学	5	9,400	7	15	国	京都大学	8	30,800	7
16	国	鹿児島大学	5	5,400	4	15	国	群馬大学	8	22,300	9
18	国	筑波大学	4	20,900	1	15	国	九州大学	8	15,600	8
18	国	熊本大学	4	16,200	1	15	公	札幌医科大学	8	13,700	8
18	私	大阪医科大学	4	8,200	2	20	私	東京慈恵会医科大学	7	21,400	7
18	私	京都薬科大学	4	7,800	3	20	国	福井大学	7	20,400	3
18	私	神戸薬科大学	4	5,400	2	20	国	東京医科歯科大学	7	19,300	7
18	国	群馬大学	4	5,300	4	20	国	佐賀大学	7	18,700	6
18	国	広島大学	4	4,900	4	20	私	自治医科大学	7	18,400	8
18	国	富山医科薬科大学	4	4,800	4	20	私	北里大学	7	18,400	3
18	国	徳島大学	4	4,700	3	20	国	島根大学	7	15,900	6
18	国	高知大学	4	2,700	3	20	公	名古屋市立大学	7	15,100	6
28	国	金沢大学	3	8,500	3	20	国	徳島大学	7	14,700	4
28	国	香川大学	3	7,600	3	29	国	鳥取大学	6	11,900	5
28	国	三重大学	3	7,300	3	29	国	金沢大学	6	11,000	5
28	国	北海道大学	3	6,500	4	29	国	山形大学	6	8,900	8
28	私	東京医科大学	3	6,300	4	29	私	藤田保健衛生大学	6	8,400	4
28	国	山形大学	3	6,200	0						
28	私	愛知医科大学	3	6,200	1						
28	国	宮崎大学	3	5,800	1						
28	国	千葉大学	3	5,000	4						
28	国	福井大学	3	4,000	1						
28	私	日本大学	3	4,000	4						
28	他	東京都医学研究機構	3	4,000	3						
28	国	琉球大学	3	3,600	3						
28	国	佐賀大学	3	3,500	2						
28	私	東邦大学	3	3,200	3						
28	国	弘前大学	3	3,000	3						
		合計	289	626,000	261			合計	540	1,297,400	517

表2-12 医歯薬学「分科」別採択研究課題数上位30位(2005年度)(3)

金額単位/千円

内科系臨床医学					外科系臨床医学						
順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数	順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	東京大学	166	598,700	162	1	国	東京大学	129	395,400	128
2	私	慶應義塾大学	134	284,100	129	2	国	大阪大学	124	342,900	107
3	国	京都大学	130	315,800	110	3	国	京都大学	113	417,800	97
4	国	東北大学	121	285,700	106	4	私	慶應義塾大学	108	284,800	102
5	国	九州大学	97	284,100	92	5	国	九州大学	86	260,400	84
6	国	大阪大学	91	304,200	94	6	国	千葉大学	75	176,600	66
7	国	名古屋大学	74	177,600	68	7	国	東北大学	69	186,200	76
7	私	久留米大学	74	121,400	77	7	公	京都府立医科大学	69	151,600	80
9	国	東京医科歯科大学	69	242,800	60	7	国	岡山大学	69	139,400	59
10	国	岡山大学	59	138,100	57	10	公	名古屋市立大学	60	135,100	56
11	国	神戸大学	56	124,700	45	11	国	北海道大学	58	163,400	53
12	国	群馬大学	55	115,100	47	12	国	東京医科歯科大学	53	145,400	52
13	国	熊本大学	54	135,400	47	12	国	金沢大学	53	118,400	50
14	国	北海道大学	52	176,500	53	12	国	山口大学	53	89,100	51
14	国	金沢大学	52	105,300	52	12	私	日本医科大学	53	76,100	64
14	国	新潟大学	52	90,500	43	16	国	名古屋大学	52	144,100	52
17	国	徳島大学	50	130,000	50	17	国	群馬大学	49	121,400	43
18	私	日本医科大学	49	74,100	64	18	国	神戸大学	45	95,200	41
19	公	京都府立医科大学	48	101,500	46	19	国	福井大学	43	87,900	26
20	公	札幌医科大学	47	154,400	42	20	国	徳島大学	40	106,300	33
20	国	千葉大学	47	101,800	38	20	私	東京女子医科大学	40	89,700	40
22	私	自治医科大学	44	73,200	54	20	国	広島大学	40	85,800	38
23	国	筑波大学	42	90,900	39	23	国	秋田大学	39	76,800	39
23	国	長崎大学	42	77,700	41	23	公	和歌山県立医科大学	39	66,600	33
23	私	順天堂大学	42	77,100	40	23	国	浜松医科大学	39	66,200	33
26	公	大阪市立大学	40	61,300	41	23	公	奈良県立医科大学	39	59,800	34
27	国	浜松医科大学	38	75,000	33	23	私	東京慈恵会医科大学	39	58,800	60
28	他	理化学研究所	37	91,900	27	28	国	長崎大学	38	90,800	39
28	私	東京女子医科大学	37	50,400	49	29	公	横浜市立大学	37	107,800	31
30	国	山梨大学	36	79,100	28	30	国	新潟大学	35	96,400	38
30	国	鳥取大学	36	54,700	33						
合計			3,223	7,172,900	3,163	合計			3,001	6,717,815	2,987

表2-13 医歯薬学「分科」別採択研究課題数上位30位(2005年度)(4)

金額単位/千円

歯学					看護学						
順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数	順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	東京医科歯科大学	105	363,300	112	1	公	大阪府立大学	30	35,400	17
2	国	新潟大学	95	196,900	90	2	私	聖路加看護大学	29	76,500	29
3	国	岡山大学	94	287,300	90	3	国	千葉大学	26	37,400	26
4	国	広島大学	89	201,600	89	4	公	兵庫県立大学	21	36,000	15
5	国	東北大学	86	174,400	79	5	公	首都大学東京	19	26,400	17
6	国	大阪大学	85	301,500	84	5	国	金沢大学	19	24,600	16
7	国	九州大学	83	256,800	81	7	公	高知女子大学	17	22,400	17
8	私	日本大学	81	114,200	90	8	国	東京大学	16	53,455	13
9	国	徳島大学	75	191,000	75	8	国	大阪大学	16	21,200	15
10	国	北海道大学	72	153,600	67	8	国	広島大学	16	19,931	15
11	国	長崎大学	70	141,000	66	8	国	神戸大学	16	19,400	14
12	私	昭和大学	66	131,900	61	8	国	群馬大学	16	18,400	12
13	公	九州歯科大学	58	100,600	50	13	公	神戸市看護大学	14	15,900	13
14	私	東京歯科大学	56	76,100	53	13	公	福岡県立大学	14	13,700	5
15	私	日本歯科大学	54	101,800	45	13	国	岡山大学	14	12,900	14
15	私	愛知学院大学	54	91,700	59	16	私	日本赤十字看護大学	13	33,800	8
17	国	鹿児島大学	49	98,600	53	16	国	東京医科歯科大学	13	29,600	12
18	私	福岡歯科大学	47	74,000	40	16	公	岐阜県立看護大学	13	17,100	11
19	私	松本歯科大学	44	110,400	45	16	公	岩手県立大学	13	16,200	11
20	私	神奈川歯科大学	40	67,000	40	16	国	山形大学	13	13,300	13
21	私	北海道医療大学	39	66,200	38	16	国	名古屋大学	13	11,900	15
22	私	鶴見大学	38	74,500	39	16	私	北里大学	13	9,400	19
23	私	明海大学	31	40,400	38	23	国	筑波大学	12	35,500	9
24	私	大阪歯科大学	30	40,100	31	23	国	福井大学	12	15,900	7
25	私	岩手医科大学	27	43,900	28	23	私	東京女子医科大学	12	13,957	12
26	私	朝日大学	20	25,900	21	23	公	埼玉県立大学	12	13,300	15
27	国	東京大学	19	70,700	20	23	私	日本赤十字広島看護大学	12	11,200	12
28	国	名古屋大学	15	34,200	9	28	国	山口大学	11	13,200	11
29	私	奥羽大学	9	11,800	12	28	国	岐阜大学	11	11,400	12
30	国	愛媛大学	8	49,400	6	28	私	北海道医療大学	11	10,600	11
合計			1,780	3,978,700	1,732	合計			881	1,170,001	788

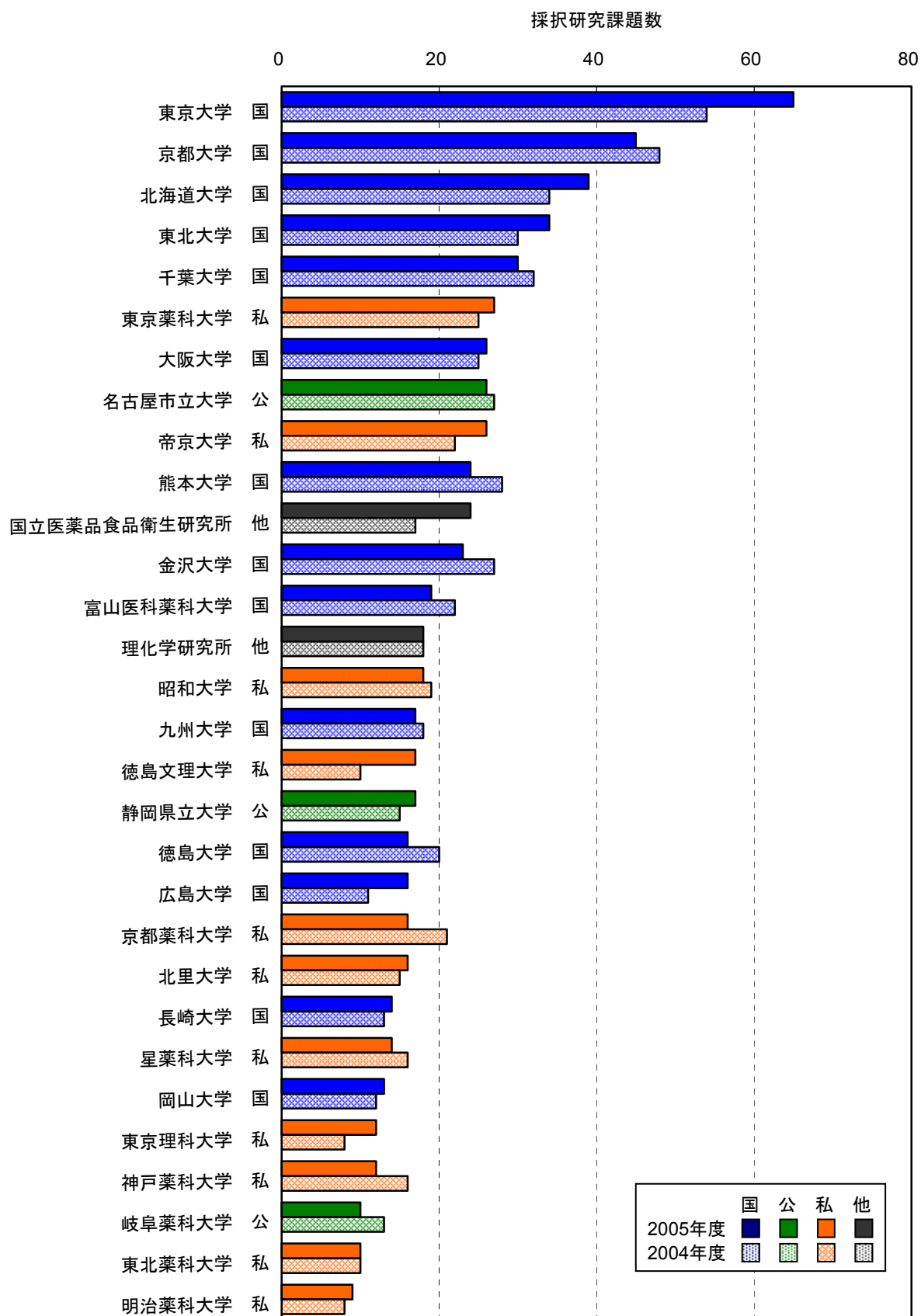


図2-17 薬学 採択研究課題数上位30位(2005年度)

採択研究課題数

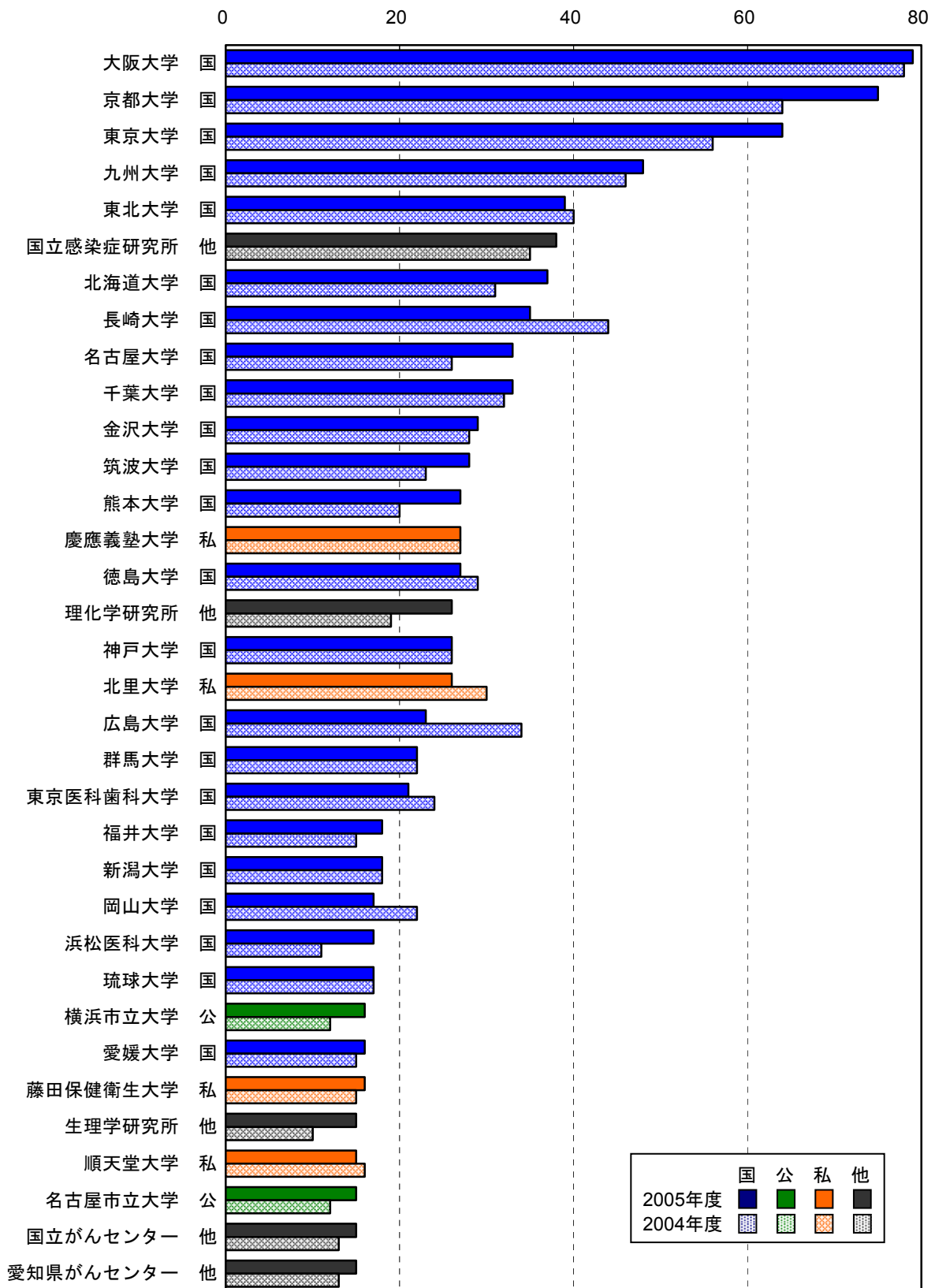


図 2 - 1 8 基礎医学 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度)

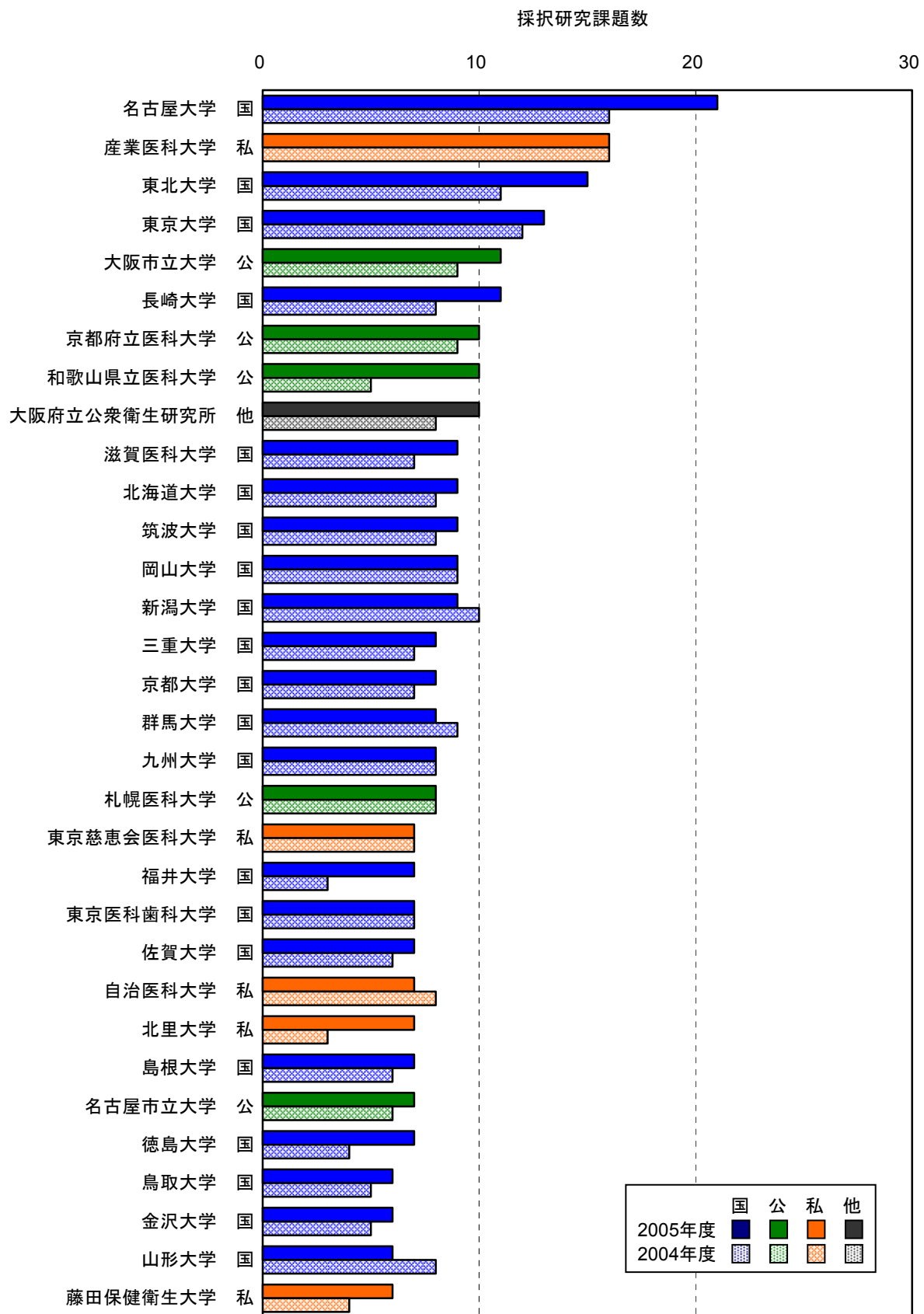


図 2 - 1 9 社会医学 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度)

採択研究課題数

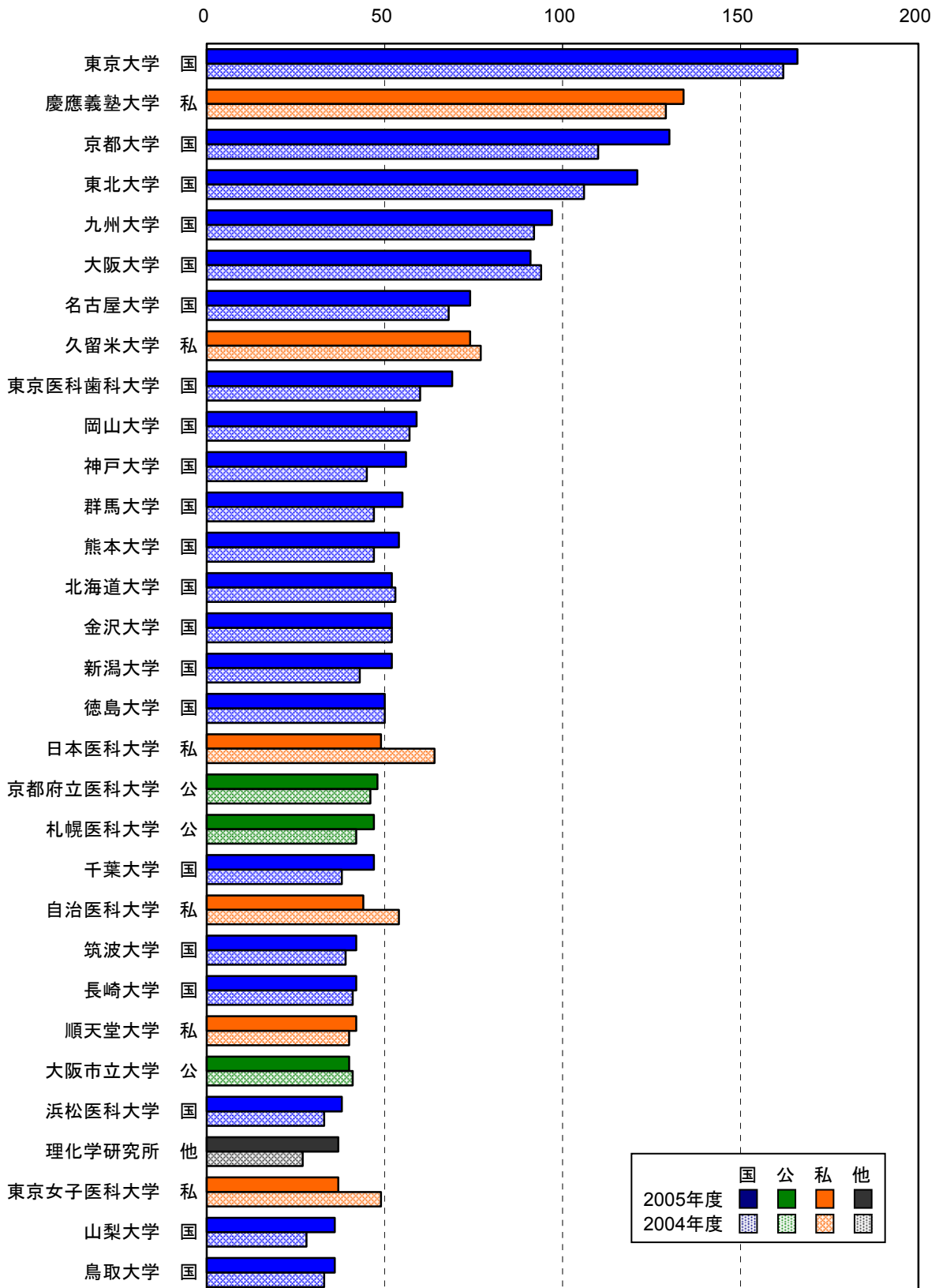


図2-20 内科系臨床医学 採択研究課題数上位30位(2005年度)

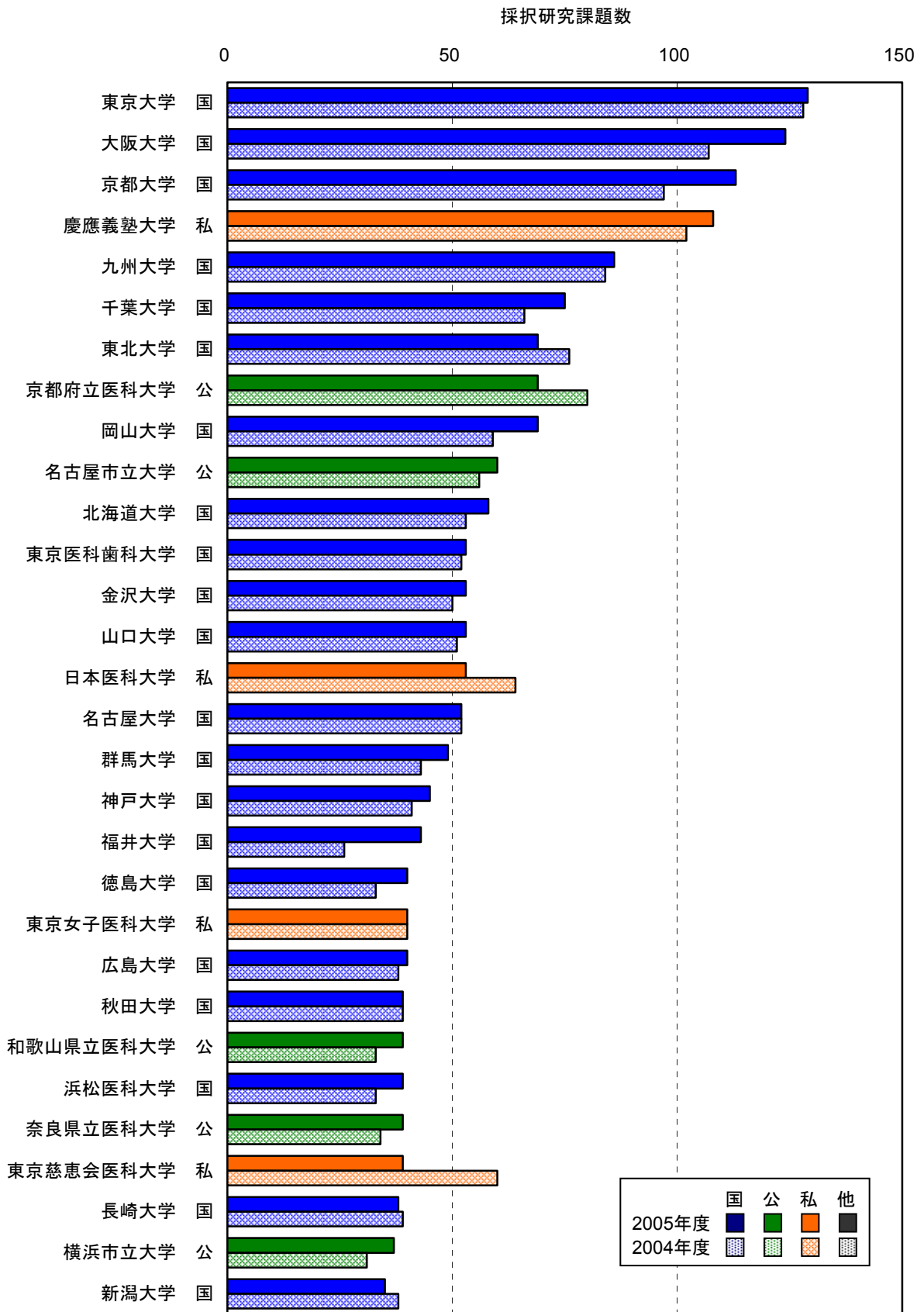


図2-2-1 外科系臨床医学 採択研究課題数上位30位 (2005年度)

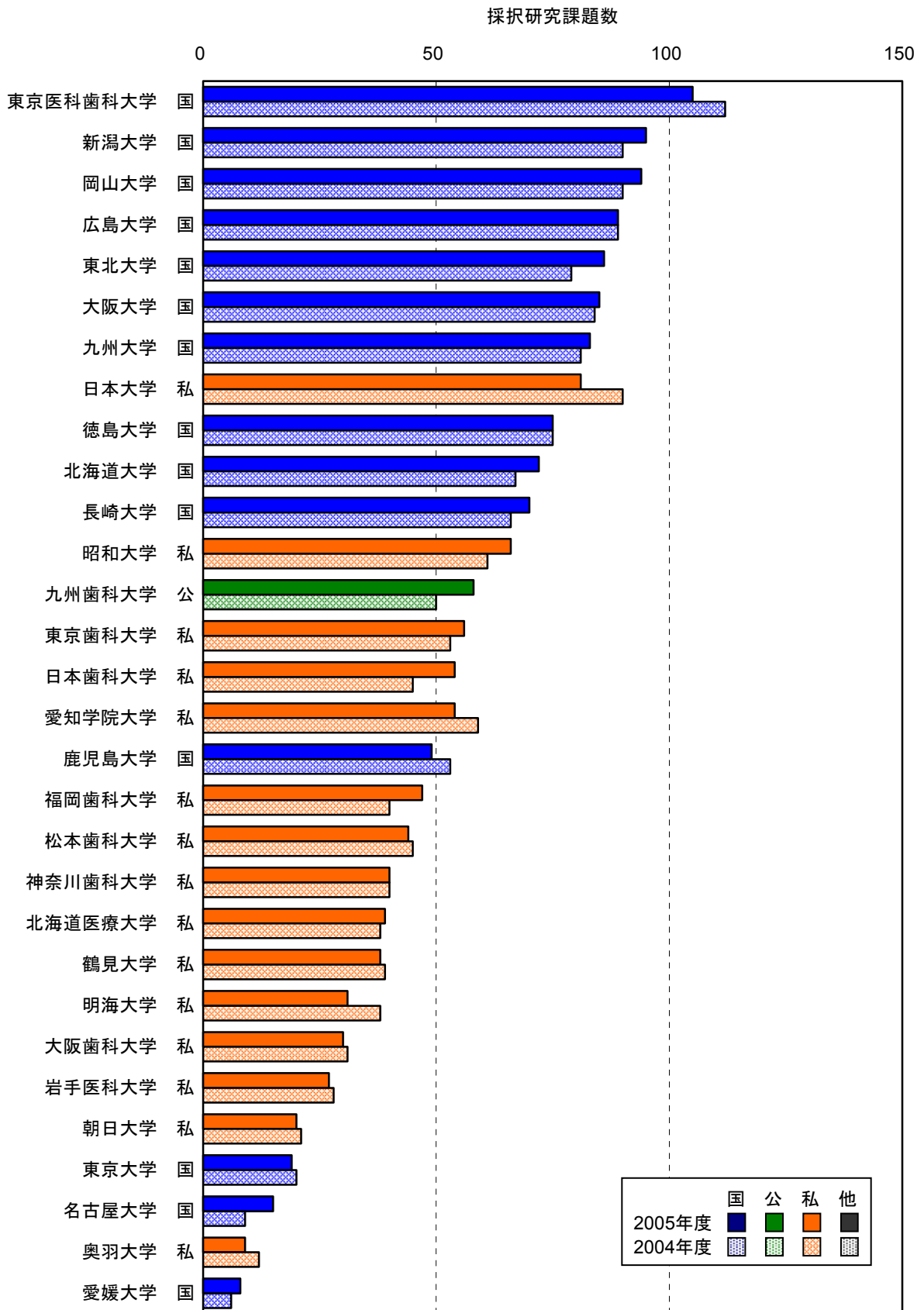


図 2 - 2 2 歯学 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度)

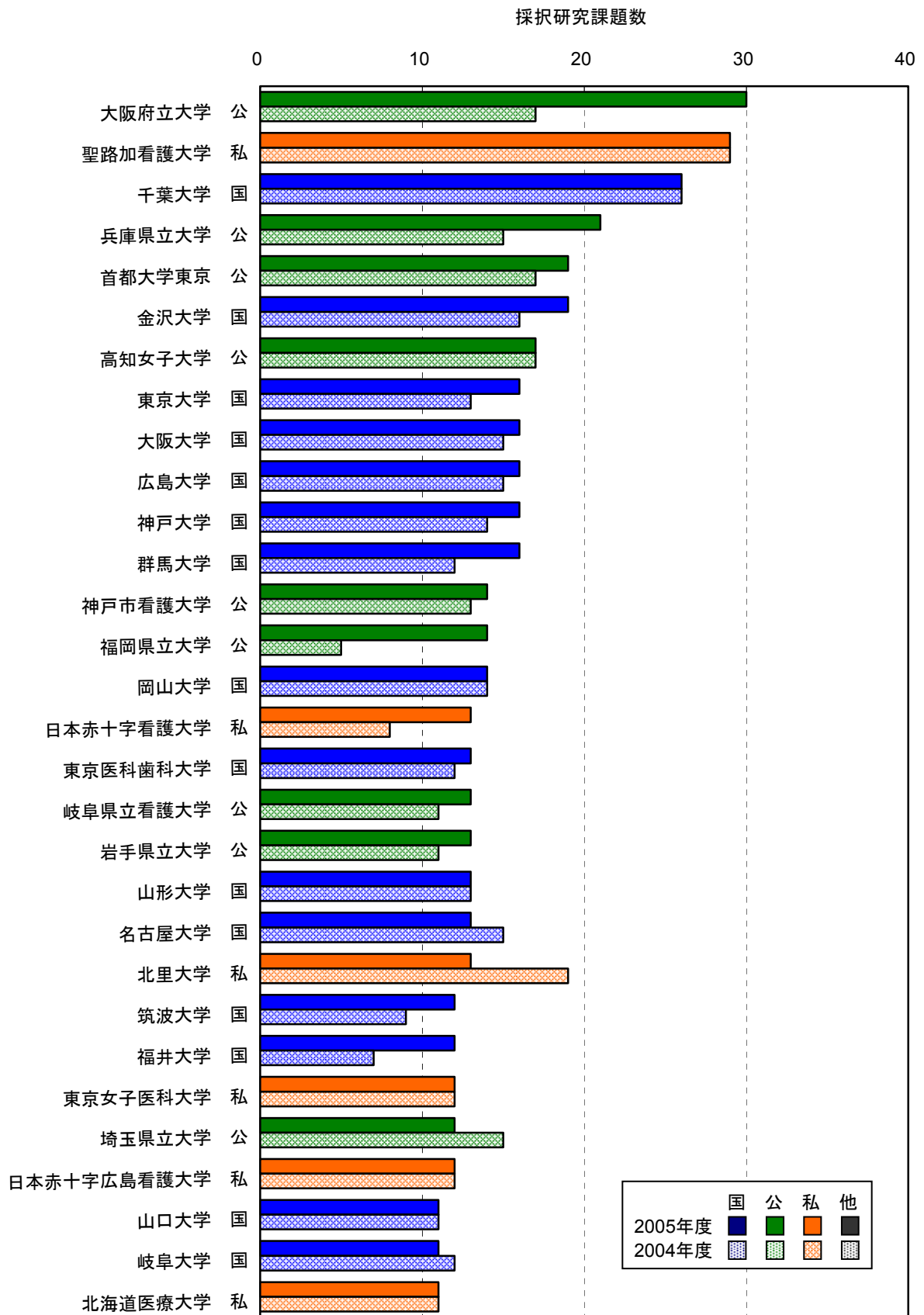


図2-23 看護学 採択研究課題数上位30位 (2005年度)